

令和2年度 当初予算資料

1	会計別予算	P	3
2	一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	4
3	歳入の主な増減	P	5
4	一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	6
5	歳出の主な増減	P	7
6	歳出予算款別財源内訳表	P	8
7	歳出予算性質別目的別分類表	P	10
8	一般会計当初予算の推移	P	12
9	税等収入予算資料	P	14
10	市税等の推移（決算ベース）	P	16
11	地方債年度末現在高の推移	P	18
12	一般会計歳出予算（部局別）	P	20
13	各部局当初予算説明資料	P	21
	危機管理監	P	21
	政策推進部	P	30
	総務部	P	38
	財政経営部	P	50
	市民文化部	P	56
	健康福祉部	P	74
	子ども未来部	P	94
	シティプロモーション部	P	108
	商工農水部	P	118
	環境部	P	140
	都市整備部	P	148
	スポーツ・国体推進部	P	169
	会計管理室	P	179
	議会事務局	P	180
	監査事務局	P	182
	教育委員会	P	183
	消防本部	P	204
	上下水道局	P	211
	市立四日市病院	P	222
14	防災・減災事業について	P	226
15	子育て関係事業について	P	230
16	環境関連事業について	P	234
17	産業活性化関係事業について	P	236
18	文化・観光・スポーツ事業について	P	237

令和2年度会計別予算

(単位 千円)

区 分		令和2年度 予算額(A)	令和元年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100% (B)
会 計 名					
一 般 会 計		119,870,000	121,000,000	△ 1,130,000	99.1
特 別 会 計	競 輪 事 業	17,160,000	17,440,000	△ 280,000	98.4
	国 民 健 康 保 険	28,193,000	29,140,000	△ 947,000	96.8
	食 肉 セ ン タ ー 食 肉 市 場	771,000	736,000	35,000	104.8
	土 地 区 画 整 理 事 業	156,500	243,700	△ 87,200	64.2
	住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	9,100	10,800	△ 1,700	84.3
	農 業 集 落 排 水 事 業	362,900	358,600	4,300	101.2
	介 護 保 険	22,131,000	21,983,000	148,000	100.7
	後 期 高 齢 者 医 療	6,780,000	6,306,000	474,000	107.5
	計	75,563,500	76,218,100	△ 654,600	99.1
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	10,918,095	11,157,681	△ 239,586	97.9
	市 立 四 日 市 病 院 事 業	25,601,544	24,664,023	937,521	103.8
	下 水 道 事 業	28,790,658	29,415,191	△ 624,533	97.9
	計	65,310,297	65,236,895	73,402	100.1
桜 財 産 区		47,400	46,300	1,100	102.4
合 計		260,791,197	262,501,295	△ 1,710,098	99.3

令和2年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	令和2年度 予算額(A)	令和元年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構 成 比 率 (%)	
					令和2年度	令和元年度
① 市 税	72,861,401	76,870,800	△ 4,009,399	94.8	60.8	63.5
2. 地 方 譲 与 税	1,206,001	1,185,001	21,000	101.8	1.0	1.0
3. 利 子 割 交 付 金	19,000	80,000	△ 61,000	23.8	0.0	0.1
4. 配 当 割 交 付 金	240,000	240,000	0	100.0	0.2	0.2
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	160,000	160,000	0	100.0	0.1	0.1
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	920,000	—	920,000	皆増	0.8	—
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	6,730,000	6,090,000	640,000	110.5	5.6	5.0
8. ゴルフ場利用税交付金	80,000	80,000	0	100.0	0.1	0.1
9. 自動車取得税交付金	1	178,000	△ 177,999	0.0	0.0	0.1
10. 環境性能割交付金	110,000	80,000	30,000	137.5	0.1	0.1
11. 地方特例交付金	304,000	249,000	55,000	122.1	0.3	0.2
12. 地 方 交 付 税	10,000	95,000	△ 85,000	10.5	0.0	0.1
うち普通交付税	0	85,000	△ 85,000	皆減	0.0	0.1
13. 交通安全対策特別交付金	49,800	50,400	△ 600	98.8	0.0	0.0
⑭ 分 担 金 及 び 負 担 金	718,351	1,378,301	△ 659,950	52.1	0.6	1.1
⑮ 使 用 料 及 び 手 数 料	2,088,650	2,090,698	△ 2,048	99.9	1.7	1.7
16. 国 庫 支 出 金	17,616,757	16,717,839	898,918	105.4	14.7	13.8
17. 県 支 出 金	8,156,458	7,556,910	599,548	107.9	6.8	6.3
⑯ 財 産 収 入	654,719	137,345	517,374	476.7	0.6	0.1
⑰ 寄 附 金	160,201	32,201	128,000	497.5	0.1	0.0
⑱ 繰 入 金	956,977	426,144	530,833	224.6	0.8	0.4
⑲ 繰 越 金	100,054	100,037	17	100.0	0.1	0.1
⑳ 諸 収 入	4,069,830	4,312,724	△ 242,894	94.4	3.4	3.6
23. 市 債	2,657,800	2,889,600	△ 231,800	92.0	2.2	2.4
うち臨時財政対策債	0	0	0	—	0.0	0.0
歳 入 合 計	119,870,000	121,000,000	△ 1,130,000	99.1	100.0	100.0

○付数字は自主財源

【款別の主な増減(歳入)】	令和元年度予算額	令和2年度予算額	(単位:千円) 増減
市税			
市民税	27,468,200	⇒ 25,502,300	(△ 1,965,900)
固定資産税	40,454,400	⇒ 38,015,900	(△ 2,438,500)
軽自動車税	792,300	⇒ 841,301	(49,001)
市たばこ税	2,179,000	⇒ 2,151,000	(△ 28,000)
事業所税	3,368,000	⇒ 3,733,200	(365,200)
法人事業税交付金			
法人事業税交付金	0	⇒ 920,000	(920,000)
地方消費税交付金			
地方消費税交付金	6,090,000	⇒ 6,730,000	(640,000)
自動車取得税交付金			
自動車取得税交付金	178,000	⇒ 1	(△ 177,999)
地方交付税			
普通交付税	85,000	⇒ 0	(△ 85,000)
分担金及び負担金			
保育所負担金	1,273,585	⇒ 604,347	(△ 669,238)
国庫支出金			
障害者自立支援給付費負担金	2,496,480	⇒ 2,679,339	(182,859)
保育所事務費事業費負担金	1,108,845	⇒ 1,565,967	(457,122)
子育てのための施設等利用給付事業費負担金	0	⇒ 404,250	(404,250)
生活保護費負担金	4,447,500	⇒ 4,612,500	(165,000)
義務教育施設整備費負担金	160,151	⇒ 2,637	(△ 157,514)
社会資本整備総合交付金(国体)	1,060,000	⇒ 600,000	(△ 460,000)
保育所整備費補助金	22,847	⇒ 142,422	(119,575)
幼稚園就園奨励費補助金	97,300	⇒ 0	(△ 97,300)
県支出金			
障害者自立支援給付費負担金	1,248,240	⇒ 1,339,669	(91,429)
保育所事務費事業費負担金	509,217	⇒ 697,725	(188,508)
子育てのための施設等利用給付事業費負担金	0	⇒ 202,125	(202,125)
障害児施設措置費(給付費等)負担金	280,416	⇒ 350,150	(69,734)
地域医療介護総合確保基金事業補助金	232,630	⇒ 169,638	(△ 62,992)
文化財保護事業費補助金(文化財保護)	60,529	⇒ 0	(△ 60,529)
参議院議員選挙費委託金	83,578	⇒ 0	(△ 83,578)
県知事選挙費委託金	45,541	⇒ 0	(△ 45,541)
基幹統計調査費委託金	21,692	⇒ 150,606	(128,914)
財産収入			
四日市市土地開発公社残余財産収入	0	⇒ 510,000	(510,000)
繰入金			
都市基盤・公共施設等整備基金繰入金	0	⇒ 301,000	(301,000)
まちづくり事業基金繰入金	126,478	⇒ 240,470	(113,992)
廃棄物処理施設整備等基金繰入金	155,000	⇒ 235,710	(80,710)
内部・八王子線基金繰入金	75,775	⇒ 149,350	(73,575)
みえ森と緑の県民税市町交付金基金繰入金	40,550	⇒ 0	(△ 40,550)
市債			
文化会館整備事業資金	730,300	⇒ 0	(△ 730,300)
社会体育施設整備事業資金	954,000	⇒ 872,200	(△ 81,800)
幼保一体化園整備事業資金	0	⇒ 463,000	(463,000)
義務教育施設整備事業資金	478,200	⇒ 206,000	(△ 272,200)
公共土木施設災害復旧事業資金	0	⇒ 175,700	(175,700)

令和2年度一般会計歳入歳出予算（歳出）

(単位 千円)

区 分 款 別	令和2年度 予算額(A)	令和元年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) ——×100(%) (B)	構成比率(%)	
					令和2年度	令和元年度
1. 議会費	675,050	665,044	10,006	101.5	0.6	0.5
2. 総務費	18,149,132	21,783,453	△ 3,634,321	83.3	15.1	18.0
3. 民生費	46,362,379	43,357,511	3,004,868	106.9	38.7	35.8
4. 衛生費	10,449,673	9,892,535	557,138	105.6	8.7	8.2
5. 労働費	60,828	93,515	△ 32,687	65.0	0.1	0.1
6. 農林水産業費	2,199,121	1,889,555	309,566	116.4	1.8	1.6
7. 商工費	3,169,612	4,300,464	△ 1,130,852	73.7	2.6	3.5
8. 土木費	17,628,624	16,879,385	749,239	104.4	14.7	13.9
9. 消防費	4,316,398	3,833,800	482,598	112.6	3.6	3.2
10. 教育費	9,772,814	10,883,431	△ 1,110,617	89.8	8.2	9.0
11. 災害復旧費	260,000	0	260,000	皆増	0.2	0.0
12. 公債費	6,726,369	7,321,307	△ 594,938	91.9	5.6	6.1
13. 予備費	100,000	100,000	0	100.0	0.1	0.1
歳出合計	119,870,000	121,000,000	△ 1,130,000	99.1	100.0	100.0

※構成比は四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

【款別の主な増減(歳出)】

(単位:千円)

	令和元年度予算額	令和2年度予算額	増減
総務費	21,783,453	18,149,132	△ 3,634,321
会計年度任用職員経費	236,367 ⇒	444,910 (208,543)
土地開発公社経営健全化基金積立金	0 ⇒	511,291 (511,291)
文化会館大規模改修事業費	1,254,642 ⇒	0 (△ 1,254,642)
三重とこわか国体・三重とこわか大会推進事業費	0 ⇒	216,557 (216,557)
霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費(国体関係)	1,210,000 ⇒	239,000 (△ 971,000)
中央緑地運動施設整備事業費(国体関係)	4,321,000 ⇒	1,471,000 (△ 2,850,000)
四日市ドーム整備事業費(推進計画)	4,000 ⇒	539,000 (535,000)
市税過納返還金	482,000 ⇒	352,000 (△ 130,000)
市議会議員選挙費	175,272 ⇒	0 (△ 175,272)
民生費	43,357,511	46,362,379	3,004,868
後期高齢者医療特別会計繰出金	3,311,089 ⇒	3,455,549 (144,460)
居宅介護等事業費	483,000 ⇒	600,000 (117,000)
生活介護事業費	1,982,000 ⇒	2,096,000 (114,000)
学童保育事業費	544,208 ⇒	654,253 (110,045)
障害児通所事業費	1,125,058 ⇒	1,406,561 (281,503)
児童扶養手当	1,195,000 ⇒	969,000 (△ 226,000)
幼稚園事務費事業費	490,216 ⇒	626,208 (135,992)
私立幼稚園保育料補助金	343,652 ⇒	0 (△ 343,652)
子育て施設等利用給付事業費	0 ⇒	808,500 (808,500)
認定こども園整備事業費	366,721 ⇒	1,084,266 (717,545)
民間保育所等整備事業費	35,021 ⇒	213,633 (178,612)
扶助費	5,930,000 ⇒	6,150,000 (220,000)
介護保険特別会計繰出金	3,406,298 ⇒	3,527,334 (121,036)
衛生費	9,892,535	10,449,673	557,138
施設管理運営費(健康増進センター)	102,164 ⇒	226,518 (124,354)
北大谷斎場整備事業費(アセットマネジメント)	40,042 ⇒	197,220 (157,178)
資源物処理事業費	428,957 ⇒	495,567 (66,610)
埋立処分場管理運営費	130,401 ⇒	261,219 (130,818)
病院企業会計負担金	1,339,979 ⇒	1,202,203 (△ 137,776)
農林水産業費	1,889,555	2,199,121	309,566
農業センター再整備事業費	50,000 ⇒	134,600 (84,600)
土地改良事業費	108,000 ⇒	248,000 (140,000)
水産物供給基盤機能保全事業費	14,000 ⇒	98,510 (84,510)
商工費	4,300,464	3,169,612	△ 1,130,852
企業立地奨励金交付事業費	1,520,000 ⇒	520,000 (△ 1,000,000)
民間研究所立地奨励金等交付事業費	201,000 ⇒	60,000 (△ 141,000)
東海・北陸B-1グランプリ事業費補助金	12,500 ⇒	23,000 (10,500)
土木費	16,879,385	17,628,624	749,239
防災・安全社会資本整備交付金事業費(道路ストック関連)	293,000 ⇒	145,000 (△ 148,000)
生活に身近な道路整備事業費	603,000 ⇒	723,000 (120,000)
産業支援・生活拠点道路整備事業費	649,620 ⇒	851,800 (202,180)
防災・安全社会資本整備交付金事業費(通学路交通安全対策)	6,000 ⇒	170,000 (164,000)
交通安全施設整備単独事業費	273,480 ⇒	503,830 (230,350)
四日市あすなろう鉄道運行事業費	234,262 ⇒	421,600 (187,338)
近鉄四日市駅周辺等整備事業費	45,000 ⇒	176,916 (131,916)
連続立体交差関連事業費	139,200 ⇒	0 (△ 139,200)
下水道企業会計負担金	4,472,319 ⇒	4,237,157 (△ 235,162)
下水道企業会計補助金	1,875,481 ⇒	2,137,043 (261,562)
消防費	3,833,800	4,316,398	482,598
一般職給	2,647,184 ⇒	2,777,780 (130,596)
退職手当	42,585 ⇒	122,637 (80,052)
消防施設管理費(庁舎等管理費)	99,341 ⇒	177,317 (77,976)
消防関係事業活動費	6,639 ⇒	84,284 (77,645)
南消防署整備事業費	22,379 ⇒	94,335 (71,956)
教育費	10,883,431	9,772,814	△ 1,110,617
登校サポートセンター整備事業費	146,700 ⇒	0 (△ 146,700)
教育情報通信システム運営費(教育情報通信システム)	288,390 ⇒	424,665 (136,275)
新学習指導要領教材整備費(小学校)	68 ⇒	125,900 (125,832)
海蔵小学校改築整備事業費	1,448,000 ⇒	0 (△ 1,448,000)
大矢知興譲小学校増築整備事業費	0 ⇒	284,440 (284,440)
その他施設整備費(小学校)	126,602 ⇒	406,180 (279,578)
大規模改修事業費(中学校)	416,300 ⇒	16,940 (△ 399,360)
公債費	7,321,307	6,726,369	△ 594,938
公債費(地方債元金、地方債利子)	7,318,307 ⇒	6,723,369 (△ 594,938)

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	675,050			
2. 総 務 費	18,149,132	686,708	933,172	953,200
3. 民 生 費	46,362,379	15,590,622	6,526,754	463,000
4. 衛 生 費	10,449,673	111,011	76,141	
5. 労 働 費	60,828			
6. 農 林 水 産 業 費	2,199,121		420,401	22,500
7. 商 工 費	3,169,612	869	3,873	
8. 土 木 費	17,628,624	1,071,300	49,744	837,400
9. 消 防 費	4,316,398		111,458	
10. 教 育 費	9,772,814	72,125	12,937	206,000
11. 災 害 復 旧 費	260,000	84,122		175,700
12. 公 債 費	6,726,369		21,978	
13. 予 備 費	100,000			
計	119,870,000	17,616,757	8,156,458	2,657,800
歳入振替項目	/			
総 計	119,870,000	17,616,757	8,156,458	2,657,800

※構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります。

財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一 般 財 源	一般財源投入率 (%)	
使 用 料 及 び 手 数 料	そ の 他	一 般 財 源		本 年 度	前 年 度
	277	674,773	664,768	0.8	0.8
212,898	613,645	14,749,509	17,643,144	17.6	20.6
140,195	938,566	22,703,242	21,477,860	27.2	25.0
943,802	1,587,693	7,731,026	7,227,262	9.2	8.4
476		60,352	93,176	0.1	0.1
344	30,576	1,725,300	1,452,431	2.1	1.7
182	1,843,938	1,320,750	2,481,987	1.6	2.9
673,317	296,905	14,699,958	14,377,090	17.6	16.8
71,633	336,772	3,796,535	3,275,350	4.5	3.8
35,483	93,958	9,352,311	9,688,747	11.2	11.3
		178		0.0	—
		6,704,391	7,299,024	8.0	8.5
		100,000	100,000	0.1	0.1
2,078,330	5,742,330	83,618,325	85,780,839	100.0	100.0
10,320	917,802	△ 928,122	△ 422,638	—	—
2,088,650	6,660,132	82,690,203	85,358,201	—	—

歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一般財源(B)	予 算 額 (C)	一般財源(D)
1. 人 件 費	22,458,159	20,916,021	17,801,114	16,206,765
(1) 報 酬	627,264	624,229	664,214	656,184
(2) 基 本 給	11,977,155	10,656,646	8,358,625	6,938,616
(3) そ の 他 の 手 当	5,401,159	5,269,866	4,884,303	4,788,206
(4) 退 職 手 当	986,189	980,853	964,169	959,323
(5) 恩 給 退 職 年 金	1,984	1,984	1,984	1,984
(6) そ の 他	3,464,408	3,382,443	2,927,819	2,862,452
2. 物 件 費	16,477,853	13,503,167	19,021,766	15,893,986
3. 維 持 補 修 費	3,726,834	2,954,112	2,863,410	2,227,798
4. 扶 助 費	28,270,158	8,736,272	26,619,191	8,217,896
5. 補 助 費 等	13,390,144	11,348,701	13,632,457	12,041,845
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	1,725,900	0	1,726,800	0
7. 積 立 金	1,620,551	1,527,218	1,174,759	1,150,000
8. 繰 出 金	9,746,670	8,100,751	9,532,135	7,993,102
9. 公 債 費	6,726,369	6,704,391	7,321,307	7,299,024
10. 投 資 的 経 費	15,627,290	9,727,692	21,207,019	14,650,423
(1) 普 通 建 設 事 業	15,355,590	9,726,314	21,124,269	14,641,573
イ、補 助	4,837,821	898,328	7,102,953	1,928,152
ロ、単 独	10,517,769	8,827,986	14,021,316	12,713,421
(2) 災 害 復 旧 事 業	260,000	178		
イ、補 助	126,120	98		
ロ、単 独	133,880	80		
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	11,700	1,200	82,750	8,850
11. 予 備 費	100,072	100,000	100,042	100,000
合 計	119,870,000	83,618,325	121,000,000	85,780,839

目的別分類表

(単位 千円)

比較				構成比率 (%)			
予算額		一般財源		本年度		前年度	
(A) - (C)	(A)/(C)×100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D)×100 (%)	予算額	一般財源	予算額	一般財源
4,657,045	126.2	4,709,256	129.1	18.7	25.0	14.7	18.9
△ 36,950	94.4	△ 31,955	95.1	0.5	0.7	0.6	0.8
3,618,530	143.3	3,718,030	153.6	10.0	12.8	6.9	8.1
516,856	110.6	481,660	110.1	4.5	6.3	4.0	5.6
22,020	102.3	21,530	102.2	0.8	1.2	0.8	1.1
0	100.0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
536,589	118.3	519,991	118.2	2.9	4.0	2.4	3.3
△ 2,543,913	86.6	△ 2,390,819	85.0	13.8	16.2	15.7	18.5
863,424	130.2	726,314	132.6	3.1	3.5	2.4	2.6
1,650,967	106.2	518,376	106.3	23.6	10.5	22.0	9.6
△ 242,313	98.2	△ 693,144	94.2	11.2	13.6	11.3	14.0
△ 900	99.9	0	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0
445,792	137.9	377,218	132.8	1.4	1.8	1.0	1.4
214,535	102.3	107,649	101.3	8.1	9.7	7.9	9.3
△ 594,938	91.9	△ 594,633	91.9	5.6	8.0	6.0	8.5
△ 5,579,729	73.7	△ 4,922,731	66.4	13.0	11.6	17.5	17.1
△ 5,768,679	72.7	△ 4,915,259	66.4	12.8	11.6	17.5	17.1
△ 2,265,132	68.1	△ 1,029,824	46.6	4.0	1.1	5.9	2.3
△ 3,503,547	75.0	△ 3,885,435	69.4	8.8	10.5	11.6	14.8
260,000	皆増	178	皆増	0.2	0.0		
				0.1	0.0		
133,880	皆増	80	皆増	0.1	0.0		
△ 71,050	14.1	△ 7,650	13.6	0.0	0.0	0.1	0.0
30	100.0	0	100.0	0.1	0.1	0.1	0.1
△ 1,130,000	99.1	△ 2,162,514	97.5	100.0	100.0	100.0	100.0

※構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
	伸び率	市 税	地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金		
			税率	普通	特別	発行額		市 債 依存度	3基金
	%		%	実績	実績		%		
H16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
H17	93,290,000	△ 2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
H18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	786,908	1,045,152	8,468,700	8.9	1,130,000
H19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	807,954	799,504	7,947,500	8.1	300,000
H20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	385,604	783,864	6,004,900	6.0	0
H21	97,382,000	△ 2.5	61,144,400	62.8	825,917	784,864	5,105,300	5.2	0
H22	99,141,000	1.8	57,959,600	58.5	1,651,021	842,323	5,817,500	5.9	849,041
H23	104,560,000	5.5	59,886,600	57.3	1,944,240	874,184	6,705,400	6.4	14,253
H24	102,774,000	△ 1.7	60,879,200	59.2	1,856,109	896,497	6,187,800	6.0	15,169
H25	102,697,438	△ 0.1	60,739,300	59.1	2,088,363	808,494	6,176,900	6.0	70,887
H26	107,890,000	5.1	60,871,900	56.4	1,749,810	800,469	9,233,100	8.6	18,000
H27	118,390,000	9.7	60,365,900	51.0	1,588,793	755,354	10,890,100	9.2	47,892
H28	108,688,051	△ 8.2	62,522,600	57.5	697,085	576,612	4,763,900	4.4	1,425,125
H29	108,475,000	△ 0.2	64,942,900	59.9	488,618	561,201	3,744,000	3.5	1,128,733
H30	116,846,000	7.7	68,814,000	58.9	274,453	550,185	5,266,700	4.5	1,799,680
R1	121,000,000	3.6	76,870,800	63.5	(8月補正後) 83,539	(当初予算) 10,000	2,889,600	2.4	0
R2	119,870,000	△ 0.9	72,861,401	60.8	0	10,000	2,657,800	2.2	301,000

予 算 の 推 移

(単位 :千円)

繰 入 金	歳 出						繰 出 金
	競 輪	公 債 費		地 方 債 年度末残高	投 資 的 経 費		
		構 成 比	%		う ち 普 通 建 設 事 業 費		
					補 助	単 独	
実績			実績				
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733
0	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305
0	12,836,604	13.5	100,338,490	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011
0	12,620,315	12.9	98,296,307	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597
0	12,959,925	13.0	98,828,006	11,519,976	1,733,390	9,430,111	7,932,841
100,000	12,659,464	13.0	96,414,973	9,026,030	1,285,914	7,687,241	8,216,381
500,000	11,614,100	11.7	92,581,596	8,259,618	1,861,904	5,993,839	7,900,832
100,000	11,406,188	10.9	87,503,991	10,059,127	3,217,941	6,437,746	8,088,790
100,000	11,719,608	11.4	80,643,109	10,121,445	2,364,877	7,382,216	8,068,206
100,000	11,623,543	11.3	75,627,184	10,191,981	3,554,440	6,366,623	8,064,360
100,000	10,684,521	9.9	72,817,345	14,749,747	6,737,842	7,748,505	8,208,646
150,000	9,846,287	8.3	72,722,310	23,926,626	14,031,382	9,539,244	8,593,504
180,000	9,481,311	8.7	67,763,459	13,084,859	5,036,590	7,850,244	9,010,047
180,000	8,775,679	8.1	61,293,772	13,013,782	3,482,636	9,265,983	8,942,700
200,000	7,746,598	6.6	56,375,167	19,365,366	6,198,229	12,959,212	9,306,301
(当初予算)			(11月補正後)				
200,000	7,321,307	6.1	53,688,001	21,207,019	7,102,953	14,021,316	9,532,135
100,000	6,726,369	5.6	49,936,447	15,627,290	4,837,821	10,517,769	9,746,670

令和2年度税等収入予算資料

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率見込%	本年度当初予算計上額(A)	前年度当初予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
市税		74,253,401	98.1	72,861,401	76,870,800	94.8
1. 市民税		26,292,000	97.0	25,502,300	27,468,200	92.8
一人		21,515,300	96.5	20,765,700	19,901,900	104.3
イ、現年課税分	162,150人	20,843,000	98.5	20,530,400	19,653,800	104.5
所得割	6%	20,275,500	98.5	19,971,400	19,106,900	104.5
均等割	3,500円	567,500	98.5	559,000	546,900	102.2
ロ、滞納繰越分		672,300	35.0	235,300	248,100	94.8
二人	8,810社	4,776,700	99.2	4,736,600	7,566,300	62.6
イ、現年課税分		4,739,400	99.8	4,729,900	7,557,900	62.6
法人税割	7.2%(令和元年9月30日までに開始する事業年度は10.9%)	3,739,400	99.8	3,731,900	6,559,900	56.9
均等割	5, 12, 13, 15, 16, 40, 41, 175, 300(万円)	1,000,000	99.8	998,000	998,000	100.0
ロ、滞納繰越分		37,300	18.0	6,700	8,400	79.8
2. 固定資産税		38,545,400	98.6	38,015,900	40,454,400	94.0
一固定資産税		38,521,800	98.6	37,992,300	40,429,600	94.0
イ、現年課税分		38,045,700	99.4	37,825,700	40,259,900	94.0
土地	1.4%	8,055,200	98.9	7,966,600	7,984,300	99.8
家屋	1.4%	10,139,600	98.9	10,028,100	9,782,700	102.5
償却資産	1.4%	19,850,900	99.9	19,831,000	22,492,900	88.2
ロ、滞納繰越分		476,100	35.0	166,600	169,700	98.2
二国有資産等所在市町村交付金		23,600	100.0	23,600	24,800	95.2
イ、交付金	1.4%	23,600	100.0	23,600	24,800	95.2
3. 軽自動車税		875,601	96.1	841,301	792,300	106.2
一環境性能割		28,701	100.0	28,701	11,600	247.4
イ、現年課税分	取得価格の1%又は2%	28,700	100.0	28,700	11,600	247.4
ロ、滞納繰越分		1	100.0	1	-	皆増
二種別割		846,900	95.9	812,600	780,700	104.1
イ、現年課税分	2,000円～12,900円	816,600	98.1	801,100	770,400	104.0
ロ、滞納繰越分		30,300	38.0	11,500	10,300	111.7
4. 市たばこ税	5,692円/千本(～R2.9.30) 6,122円/千本(R2.10.1～)	2,151,000	100.0	2,151,000	2,179,000	98.7
5. 入湯税	日帰り 1人 80円 宿泊 1人1泊 150円	2,600	100.0	2,600	2,500	104.0
6. 事業所税	789者	3,734,900	99.95	3,733,200	3,368,000	110.8
イ、現年課税分		3,733,800	99.97	3,732,600	3,367,400	110.8
資産割	600円/㎡ 768者	3,186,200	99.97	3,185,200	2,901,700	109.8
従業者割	0.25% 133者	547,600	99.96	547,400	465,700	117.5
ロ、滞納繰越分		1,100	54.5	600	600	100.0
7. 都市計画税		2,651,900	98.6	2,615,100	2,606,400	100.3
イ、現年課税分		2,619,400	99.4	2,603,700	2,593,700	100.4
土地	0.2%	1,290,100	99.4	1,282,400	1,292,500	99.2
家屋	0.2%	1,329,300	99.4	1,321,300	1,301,200	101.5
ロ、滞納繰越分		32,500	35.1	11,400	12,700	89.8

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率見込%	本年度当初予算計上額(A)	前年度当初予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
地方譲与税		1,206,001	100.0	1,206,001	1,185,001	101.8
1. 地方揮発油譲与税		228,000	100.0	228,000	232,000	98.3
2. 自動車重量譲与税		610,000	100.0	610,000	600,000	101.7
3. 地方道路譲与税		1	100.0	1	1	100.0
4. 森林環境譲与税		28,000	100.0	28,000	13,000	215.4
5. 特別とん譲与税		340,000	100.0	340,000	340,000	100.0
利子割交付金		19,000	100.0	19,000	80,000	23.8
利子割交付金		19,000	100.0	19,000	80,000	23.8
配当割交付金		240,000	100.0	240,000	240,000	100.0
配当割交付金		240,000	100.0	240,000	240,000	100.0
株式等譲渡所得割交付金		160,000	100.0	160,000	160,000	100.0
株式等譲渡所得割交付金		160,000	100.0	160,000	160,000	100.0
法人事業税交付金		920,000	100.0	920,000	-	皆増
法人事業税交付金		920,000	100.0	920,000	-	皆増
地方消費税交付金		6,730,000	100.0	6,730,000	6,090,000	110.5
地方消費税交付金		6,730,000	100.0	6,730,000	6,090,000	110.5
ゴルフ場利用税交付金		80,000	100.0	80,000	80,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		80,000	100.0	80,000	80,000	100.0
自動車取得税交付金		1	100.0	1	178,000	0.0
自動車取得税交付金		1	100.0	1	178,000	0.0
環境性能割交付金		110,000	100.0	110,000	80,000	137.5
環境性能割交付金		110,000	100.0	110,000	80,000	137.5
地方特例交付金		304,000	100.0	304,000	249,000	122.1
地方特例交付金		304,000	100.0	304,000	249,000	122.1

基金の状況

(単位：千円)

基金名	令和2年度末 残高見込	基金名	令和2年度末 残高見込
土地開発公社経営健全化基金	4,200,361	中小企業振興基金	4,582
国際交流基金	88,692	広域基幹道路整備基金	1,000,632
文化振興基金	167,149	緑化基金	69,352
財政調整基金	13,220,933	内部・八王子線基金	360,198
減債基金	313,816	市営住宅整備基金	48,320
都市基盤・公共施設等整備基金	8,053,511	学校施設整備基金	1,790,703
アセットマネジメント基金	9,287,081	小菅科学教育振興基金	24,789
まちづくり事業基金	2,167,557	土地開発基金	1,151,154
社会福祉事業振興基金	475,573	競輪事業財政調整基金	1,511,682
災害救助基金	99,606	競輪事業施設等整備基金	628,233
廃棄物処理施設整備等基金	449,069	国民健康保険支払準備基金	2,714,235
市立四日市病院整備基金	16,004	東橋北住環境整備基金	0
森林環境基金	18,146	介護保険給付費支払準備基金	3,877,078
ふるさと・水と土保全基金	6,635		

市税等の推移

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
市 税	97.0%	104.2%	100.4%	98.3%	101.4%	
	59,387,874	61,867,325	62,144,224	61,059,837	61,898,681	
	うち個人市民税	90.8%	99.8%	105.3%	101.0%	101.0%
	17,343,888	17,311,030	18,220,809	18,400,686	18,586,195	
	うち法人市民税	134.7%	106.9%	98.7%	96.8%	108.6%
5,238,580	5,598,472	5,527,455	5,350,164	5,811,095		
うち固定資産税	94.5%	98.6%	97.7%	95.8%	100.5%	
31,411,633	30,979,306	30,280,005	28,996,817	29,135,302		
うち事業所税	皆増	1,055.0%	111.7%	98.5%	103.5%	
236,093	2,490,765	2,782,646	2,740,777	2,835,997		
地 方 譲 与 税	100.5%	101.4%	93.5%	97.6%	98.3%	
1,284,144	1,302,055	1,217,171	1,187,749	1,167,687		
利 子 割 交 付 金	94.5%	94.2%	78.1%	104.0%	79.6%	
193,213	182,091	142,180	147,849	117,667		
配 当 割 交 付 金	119.8%	108.5%	110.9%	197.3%	185.5%	
93,534	101,475	112,584	222,135	411,969		
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	76.4%	82.1%	112.1%	1,327.8%	63.4%	
30,453	25,009	28,029	372,161	235,986		
法 人 事 業 税 交 付 金						
地 方 消 費 税 交 付 金	99.8%	101.8%	101.1%	99.1%	119.7%	
3,040,936	3,095,228	3,128,067	3,101,408	3,711,751		
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	101.0%	101.9%	98.2%	100.9%	96.9%	
95,913	97,777	96,037	96,943	93,898		
自 動 車 取 得 税 交 付 金	91.5%	84.0%	117.1%	109.6%	36.8%	
317,718	266,774	312,434	342,552	126,134		
環 境 性 能 割 交 付 金						
地 方 特 例 交 付 金	74.4%	127.5%	29.2%	98.5%	96.4%	
516,518	658,532	192,593	189,717	182,913		
地 方 交 付 税	154.8%	113.0%	97.7%	105.2%	88.0%	
2,493,344	2,818,424	2,752,606	2,896,857	2,550,279		
うち普通交付税	199.9%	117.8%	95.5%	112.5%	83.8%	
1,651,021	1,944,240	1,856,109	2,088,363	1,749,810		
うち特別交付税	107.3%	103.8%	102.6%	90.2%	99.0%	
842,323	874,184	896,497	808,494	800,469		

(決算ベース)

(単位 千円)

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (決算見込)	令和2年度 (当初予算)
101.0%	102.2%	105.6%	115.9%	98.1%	94.9%
62,545,150	63,919,683	67,528,628	78,265,507	76,740,800	72,861,401
101.3%	101.5%	101.0%	103.3%	103.6%	100.6%
18,836,143	19,110,304	19,296,871	19,929,489	20,651,900	20,765,700
99.7%	86.7%	129.0%	203.5%	43.1%	83.3%
5,792,825	5,024,830	6,483,985	13,197,003	5,686,300	4,736,600
101.2%	105.6%	105.6%	109.1%	115.6%	91.7%
29,486,368	31,123,086	32,860,206	35,850,038	41,454,400	38,015,900
103.5%	105.6%	108.0%	113.0%	89.1%	110.8%
2,934,378	3,097,747	3,344,740	3,777,979	3,368,000	3,733,200
102.3%	99.1%	98.6%	102.1%	99.4%	101.8%
1,194,277	1,183,754	1,167,055	1,191,735	1,185,001	1,206,001
85.1%	83.0%	140.9%	97.9%	69.8%	23.8%
100,173	83,160	117,152	114,657	80,000	19,000
82.9%	59.7%	143.9%	78.8%	103.9%	100.0%
341,331	203,669	293,051	230,969	240,000	240,000
131.6%	38.6%	242.5%	63.9%	86.1%	100.0%
310,638	119,835	290,603	185,751	160,000	160,000
					皆増 920,000
158.9%	90.5%	104.9%	106.9%	101.8%	110.5%
5,896,445	5,338,100	5,597,466	5,981,478	6,090,000	6,730,000
99.5%	96.7%	97.0%	97.9%	93.2%	100.0%
93,465	90,364	87,630	85,823	80,000	80,000
161.7%	110.1%	136.9%	106.3%	54.5%	0.0%
203,969	224,509	307,260	326,658	178,000	1
				皆増 80,000	137.5% 110,000
104.3%	106.3%	109.5%	112.3%	271.4%	44.9%
190,772	202,795	222,010	249,329	676,784	304,000
91.9%	54.3%	82.4%	78.6%	11.3%	10.7%
2,344,147	1,273,697	1,049,819	824,638	93,539	10,000
90.8%	43.9%	70.1%	56.2%	30.4%	0.0%
1,588,793	697,085	488,618	274,453	83,539	0
94.4%	76.3%	97.3%	98.0%	1.8%	100.0%
755,354	576,612	561,201	550,185	10,000	10,000

上段は対前年度比

地方債年度末

年 度		平成26年度 決 算	平成27年度 決 算	平成28年度 決 算	平成29年度 決 算	平成30年度 決 算
区 分						
普 通 会 計	一 般 会 計	72,817,345	72,722,310	67,763,459	61,293,772	56,375,167
	うち減税補てん債 (借換債含む)	3,089,870	2,673,132	2,247,645	1,814,818	1,377,751
	うち臨時財政対策債	26,706,085	25,798,796	23,743,407	21,677,851	19,688,616
	特別会計					
	土地区画整理事業	1,116,413	860,063	618,784	414,015	241,544
	住宅新築資金等 貸付事業	15,911	13,017	10,004	6,866	4,263
	公共用地取得事業 (都市下水路分)	474,720				
	(都市下水路分)	363,738	327,375	290,574	253,327	215,629
	計	74,788,127	73,922,765	68,682,821	61,967,981	56,836,603
	うち合併特例債 (基金造成含む)	13,574,880	11,875,672	9,956,711	8,126,383	6,449,288
準 公 営 企 業	食肉センター 食肉市場事業	1,082,283	1,021,690	966,104	895,188	825,457
	農業集落排水事業	2,128,337	2,060,602	1,971,070	1,878,467	1,780,951
	計	3,210,620	3,082,292	2,937,174	2,773,655	2,606,408
公 営 企 業	水 道 事 業	15,574,935	14,966,143	14,362,598	13,620,822	13,302,902
	市立四日市病院事業	11,299,817	11,586,010	12,130,534	11,591,393	10,977,142
	下 水 道 事 業	85,664,146	83,917,440	81,542,189	79,179,421	78,137,246
	計	112,538,898	110,469,593	108,035,321	104,391,636	102,417,290
重複分		363,738	327,375	290,574	253,327	215,629
合 計		190,173,907	187,147,275	179,364,742	168,879,944	161,644,672

現在高の推移

(単位 千円)

令和元年度 決算見込	令和2年度 当初 予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
53,688,001	6,409,355	314,014	6,723,369	2,657,800	49,936,447
1,069,848	271,995	2,542	274,537		797,853
17,627,760	2,079,089	96,917	2,176,005		15,548,671
134,384	68,165	1,500	69,665		66,219
1,554	1,128	38	1,166		426
177,472	38,622	2,415	41,037		138,850
54,001,411	6,517,270	317,967	6,835,237	2,657,800	50,141,942
5,041,496	1,275,428	24,226	1,299,654		3,766,068
732,481	121,449	6,692	128,141	96,000	707,032
1,674,821	115,016	30,252	145,268		1,559,805
2,407,302	236,465	36,944	273,409	96,000	2,266,837
13,086,748	1,011,458	243,589	1,255,047	497,000	12,572,290
10,478,956	951,953	117,996	1,069,949	1,106,000	10,633,003
80,933,030	5,445,887	1,296,250	6,742,137	4,502,000	79,989,143
104,498,734	7,409,298	1,657,835	9,067,133	6,105,000	103,194,436
177,472	38,622	2,415	41,037		138,850
160,729,975	14,124,411	2,010,331	16,134,742	8,858,800	155,464,365

※数値は四捨五入していますので合計が合わない場合があります。

一般会計歳出予算【部局別】

(単位：千円、%)

区 分		令和2年度当初	令和元年度当初	増減額	伸率
部 局		A	B	A - B	C / B × 100
危 機 管 理 監		809,635	651,736	157,899	24.2
政 策 推 進 部		1,850,102	1,351,462	498,640	36.9
総 務 部		6,323,274	5,760,627	562,647	9.8
財 政 経 営 部		20,030,495	20,564,478	△ 533,983	△ 2.6
市 民 文 化 部		2,219,903	3,322,813	△ 1,102,910	△ 33.2
健 康 福 祉 部		17,837,107	17,118,216	718,891	4.2
こ ども 未 来 部		23,608,108	21,564,499	2,043,609	9.5
シテイプロモーション部		556,562	520,773	35,789	6.9
商 工 農 水 部		4,303,408	5,197,192	△ 893,784	△ 17.2
環 境 部		5,673,039	5,170,328	502,711	9.7
都 市 整 備 部		10,170,939	9,074,830	1,096,109	12.1
ス ポー ツ ・ 国 体 推 進 部		4,223,078	7,666,385	△ 3,443,307	△ 44.9
会 計 管 理 室		35,742	34,216	1,526	4.5
議 会 事 務 局		675,050	665,044	10,006	1.5
選 挙 管 理 委 員 会		165,421	369,482	△ 204,061	△ 55.2
監 査 事 務 局		90,235	88,244	1,991	2.3
教 育 委 員 会		9,148,549	10,088,262	△ 939,713	△ 9.3
消 防 本 部		4,314,732	3,832,617	482,115	12.6
企 補 業 助 会 費 計 対 に する 等	上 下 水 道 局	6,632,418	6,618,817	13,601	0.2
	市 立 四 日 市 病 院	1,202,203	1,339,979	△ 137,776	△ 10.3
合 計		119,870,000	121,000,000	△ 1,130,000	△ 0.9

危機管理監

新年度予算における基本的な方針

近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命と財産を守るため、「地域の防災力を高めるまちづくり」が急務であり、多様な手段による分かりやすい防災情報の提供、地域防災の取組の推進や実効性の高い計画づくりと指定避難所の環境整備等に取り組む。

1. 多様な手段による分かりやすい防災情報の提供について

避難情報等を的確かつ迅速に提供するため、複数の伝達手段に一斉配信が可能なワンオペレーション情報発信システムの構築や防災アプリの導入など、多様な手段の導入により情報伝達機能の強化を図る。

本庁及び地区市民センターに配備されているアナログ式簡易型無線機をデジタル簡易無線機へ更新する。

【主な事業】	防災・減災に関する情報伝達機能強化事業	51,790千円
--------	---------------------	----------

2. 地域防災の取組の推進について

住民の自助・共助の取り組みを促進するため、地域の防災組織が行う防災・減災に対する取り組み支援や地域における防災活動の中核を担う人材育成に取り組むとともに、大型の投資が必要となる資機材等の更新需要に対応するため、新たに高額資機材等購入に対する支援を行う。

水防法の改正を受けて、河川の新たな浸水想定等に基づくハザードマップの作成を行う。

また、木造住宅の無料耐震診断や耐震補強計画策定・工事費等への補助を実施するとともに、地震時に通行を確保すべき道路沿いの建築物の耐震診断や耐震補強計画、耐震改修への補助を実施し、耐震化を促進する。

【主な事業】	地域防災取組支援事業	57,086千円
	住宅等耐震化促進事業	238,550千円

3. 実効性の高い計画づくりと指定避難所の環境整備について

大規模災害時に、国や県等からの人的・物的支援を円滑に受け入れることができるよう、受援計画の策定を行うとともに、災害発生時においても業務の継続性を確保するために、平成23年度に策定した業務継続計画を、受援計画との関連性を踏まえて内容の見直しを行う。

また、東日本大震災など過去の大規模災害時においては、被災者が長期にわたる避難所

生活で、心身の機能の低下や様々な疾患の発生・悪化が見られたことから、長期に渡る避難生活のストレスを軽減するため、エアーマットや間仕切り用パーティションなどの備蓄物資の配備を進める。

また、長期化が予想される大規模災害時の避難所生活等の衛生環境の維持や生活用水を確保するため、マンホールトイレの測量調査設計や防災井戸の整備等を行う。

【主な事業】	受援計画等策定事業	7,000千円
	防災倉庫備蓄品等整備事業	9,000千円
	避難施設等整備事業	35,600千円

4. 防災対策の推進について

大規模災害時に、災害対策本部との連携や全国からの救援物資の受け入れ、消防・自衛隊等の受援拠点となるほか、応急仮設住宅用地としての活用可能な総合防災拠点の整備を図る。

また、大規模地震による災害等においては、広域的な断水状況が想定されることから、市による応急給水（拠点給水・運搬給水）に加え、より身近な場所で応急給水を実施できるよう、「応急給水栓」を地域に配備する。

【主な事業】	総合防災拠点整備事業	278,000千円
	地域応急給水栓配備事業	9,600千円

(新) 防災・減災に関する情報伝達機能強化事業

1. 目的

避難情報等を的確かつ迅速に提供するため、複数の伝達手段に一斉配信が可能なワンオペレーション情報発信システムの構築や防災アプリの導入など、多様な手段の導入により情報伝達機能の強化を図る。

2. 内容

(1) ワンオペレーションシステムの構築等 39,790千円

防災行政無線システムを改修し、メール、電話、ファクシミリ、SNS、ホームページ等の複数メディアへ防災情報や避難情報等を一斉発信するワンオペレーションシステムを構築する。

従来の防災行政無線やメール等の情報伝達手段に加え、スマートフォン等を活用した防災アプリを導入する。

(2) デジタル簡易無線機更新 12,000千円

本庁及び地区市民センターに配備されているアナログ式簡易型無線機をデジタル簡易無線機へ更新する。

3. 予算額 51,790千円 (財源内訳) 一般財源 51,790千円

担当 危機管理監 危機管理室
小林
TEL 354-8119

地域防災取組支援事業

1. 目的

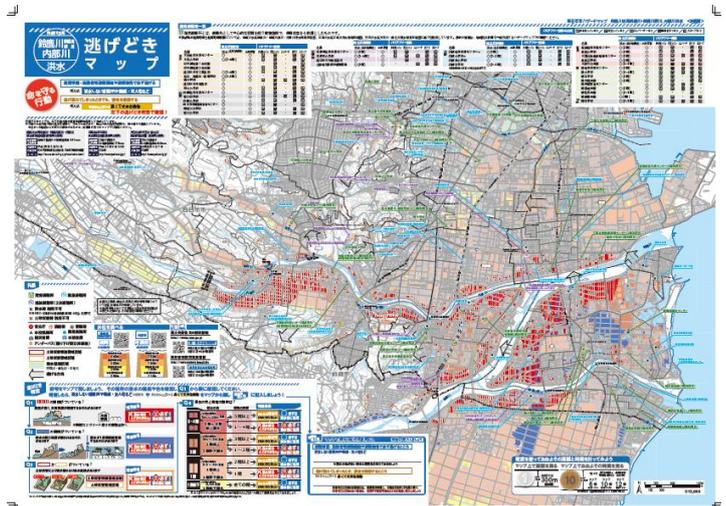
住民の自助・共助の取り組みを促進するため、地域の防災組織が行う防災・減災に対する取り組み支援や地域における防災活動の中核を担う人材育成に取り組むとともに、地域の大型の投資が必要となる資機材等の更新需要に対応するため、新たに高額資機材等購入に対する支援を行う。また、水防法の改正を受けて、河川の新たな浸水想定等に基づくハザードマップの作成を行う。

2. 内容

- (1) 地区防災組織への支援
31,900千円
- ・地区防災組織が行う防災活動や資機材整備に対する支援（29団体）
 - ・新たに設立される自主防災組織に対する助成（4団体分）
 - ・【新規】地区防災組織が行う高額資機材等購入に対する支援
- (2) 防災・減災人材の育成
1,701千円
- ・防災大学（女性向け講座を含む）や防災大学修了者向けのステップアップ講座を開催し、地域の防災力向上を図るとともに、防災士の資格取得を支援する。さらに、家族向けのファミリー防災講座を開催し、若年層への防災意識の向上を図る。
- (3) ハザードマップ作成
23,485千円
- ・水防法改正を受けて、国・県管理河川について想定最大規模の浸水想定や浸水継続時間等（ハザード）が公表され、それを基に、気づきマップや逃げどきマップ等の市民の避難行動に結びつくハザードマップを作成する必要がある。作成にあたっては、平成29年度に行った四日市市防災（ハザード）マップ作成ワーキンググループの検討結果を基に行う。



【ワークショップの様子】



【ハザードマップイメージ(参考:鈴鹿川水系)】

3. 予算額	57,086千円	(財源内訳) 県支出金(1/2)	2,500千円
(前年度)	58,747千円)	一般財源	54,586千円

担当 危機管理監 危機管理室
 田中・河村
 TEL 354-8119

受援計画等策定事業

1. 目的

大規模災害時には、他の自治体やボランティア団体等からの人的・物的支援を円滑に受け入れることが重要であり、受援計画はその体制等を定めたものである。

熊本地震では、全国からの人と物の受け入れが円滑に行われなかったことから、受入体制の構築の重要性が浮き彫りとなり、さらに平成30年7月豪雨の被災自治体においても、受援計画の未策定などにより対応が後手に回った自治体が多かったことから、受援計画の策定が必要である。

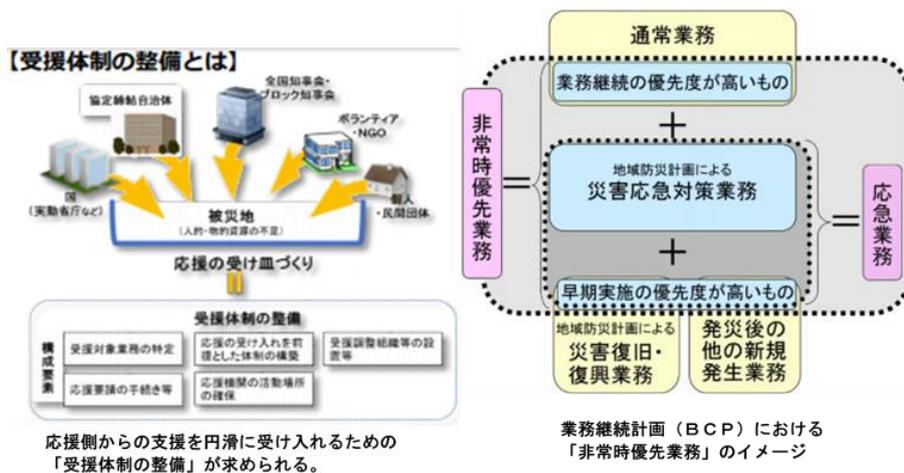
2. 内容

(1) 【新規】受援計画の策定

受援計画は未策定であるため、三重県が平成30年3月に策定した「三重県広域受援計画」と整合を図りながら、業務継続計画との関連性も踏まえつつ、大規模災害時に国や県等からの人的・物的支援を円滑に受け入れることができるよう、実効性の高い計画とする。

(2) 業務継続計画

受援計画の策定に加え、平成23年度に策定した業務継続計画（BCP）を、受援計画との関連性を踏まえて内容の見直しを行う。



3. 予算額 7,000千円
(前年度 0千円)

(財源内訳) 県支出金(1/2) 1,500千円
一般財源 5,500千円

担当 危機管理監 危機管理室
水谷
TEL 354-8119

防災倉庫備蓄品等整備事業

1. 目的

東日本大震災など過去の大規模災害時においては、被災者が長期にわたる避難所生活で、心身の機能の低下や様々な疾患の発生・悪化が見られたことから、長期に渡る避難生活のストレスを軽減するため、エアーマットや間仕切り用パーティションなどの備蓄物資の配備を進める。

2. 内容

(1) エアーマット 6,000千円



(2) 間仕切り用パーティション 3,000千円



3. 予算額 9,000千円 (財源内訳) 県支出金(1/2) 1,500千円
(前年度 14,554千円) 一般財源 7,500千円

担当 危機管理監 危機管理室
谷口
TEL 354-8119

避難施設等整備事業

1. 目的

長期化が予想される大規模災害時の避難所生活等の衛生環境の維持や生活用水を確保するため、マンホールトイレの測量調査設計や防災井戸の整備等を行う。

2. 内容

- (1) **【拡充】貯留式マンホールトイレ整備 測量調査設計** 25,600千円
(公共下水道へ接続済の小中学校)
・常磐小学校、羽津小学校、日永小学校、河原田小学校
- (2) 防災井戸設置 8,000千円
(浅井戸で手押しポンプによる井戸)
・なやプラザ、県立四日市高校、滝川公園
- (3) 災害時仮設トイレ(マンホールトイレ) 配備 2,000千円
(中央体育館建替え時に、災害時の仮設トイレを整備する)
・四日市市総合体育館(洋式トイレ10基)

3. 予算額 35,600千円 (財源内訳) 国庫支出金(1/2) 12,800千円
(前年度 12,600千円) 一般財源 22,800千円

担当 危機管理監 危機管理室
谷口
TEL 354-8119

地域応急給水栓配備事業

1. 目的

大規模地震による災害等においては、広域的な断水状況が想定されることから、市による応急給水（拠点給水・運搬給水）に加え、より身近な場所で応急給水を実施できるよう、「応急給水栓」を地域に配備する。

2. 内容

応急給水栓は、すでに設置されている「消火栓」または新規に設置する「復旧給水栓」に接続して使用できるもので、発災後に住民が応急給水場所を開設することが可能になるとともに、水道管の復旧に合わせて市と住民が協力して応急給水場所の増設が可能となる。また、公道下の水道管が復旧した後も宅地内の給水管が破損し、水道が使用できない場合にも応急給水栓が活用できる。

【応急給水栓の配備】

(1) 配備内容

応急給水栓は、消火栓に放水ホースを接続する要領で使用でき、蛇口4口から同時に給水できる設備である。ほかに設置マニュアル、応急給水場所を囲むカラーコーン、残塩測定器等を合わせてセットする。

(2) 配備場所

①指定避難所（既存消火栓用）R1～R3年度

指定避難所118か所の防災倉庫に1セットずつ配備する。

R2年度 指定避難所47か所配備 9,600千円

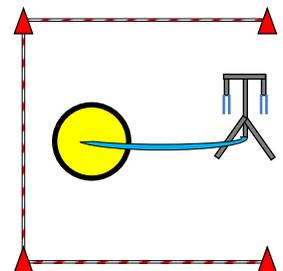
②拠点防災倉庫（既存消火栓用 広域用）R1～R4年度

拠点防災倉庫3か所、上下水道局に計60セット配備する。

③地区市民センター（復旧給水栓用）R1～R3年度

地区市民センター24か所の倉庫に1セットずつ配備する。

（復旧給水栓は上下水道局が整備を実施）



3. 予算額 9,600千円 (財源内訳) 一般財源 9,600千円
(前年度11,530千円)

担当 危機管理監 危機管理室
谷口
TEL 354-8119

政 策 推 進 部

新年度予算における基本的な方針

令和元年12月に策定した「四日市市総合計画（2020年度～2029年度）」の基本構想に掲げた4つの将来都市像の実現に向けて、本市が、市民の皆さんが豊かで幸せに暮らせる都市となり、日本の活力を支える東海エリアにおける西の中核都市として飛躍するため、重点的横断戦略プラン及び分野別基本政策に位置付けた施策や取組を着実に力強く推進する。

市内企業と大学等研究機関などとの産学官の連携を強化・推進することにより、地域産業の競争力強化や地域の課題解決のための取組につなげる調査研究を進める。また、中核市移行に向けて関係機関との協議・調整を進める。

国際交流に関しては、姉妹・友好都市事業を推進するとともに、令和2年度は、天津市との友好都市提携40周年を迎えるため、記念事業として青少年交流をはじめとする様々な分野での交流事業を行う。

首都圏において経済界・中央省庁との連絡調整や国の動向・施策等の情報収集を行うとともに、本市の旬な情報や魅力の発信、地場製品のPRなど、シティプロモーションのより一層の強化を図る。

1. 総合計画の推進について

「四日市市総合計画（2020年度～2029年度）」の初年度として、将来都市像の実現に向けて、3年間の具体的な実施事業を示した令和2年度推進計画（令和2～4年度）の着実な推進を図るとともに、前総合計画に基づく第3次推進計画の最終年度にあたる令和元年度実施事業分について、外部の視点を交えて評価・検証を行う。

また、意欲ある職員からの政策提案など、柔軟な発想から生まれる斬新なアイデアを政策形成に活かし、先進かつ魅力的な市政運営につなげる。

【主な事業】 総合計画推進事業費 8, 474千円

2. 産学官連携の推進について

四日市市内の企業や大学等研究機関との連携を強化し、産学官それぞれがもつ知的・人的・物的資源を相互活用することで、先端技術分野やAI・IoT分野などの研究開発等による地域産業の競争力強化だけでなく、まちづくりや教育、環境分野など地域の課題解決のための取組につなげる調査研究を行う。

【主な事業】 産学官連携事業推進費 6, 000千円

3. 市制施行 123 周年記念市民企画イベント補助事業について

本市が市制施行 123 周年を迎える令和 2 年度には、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催により世界中からの注目が集まり、さらに、翌年に控える三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた盛り上がりによって、新たな活力が生まれることが期待されている。このような機運の高まりの中、市内外の人に「四日市の魅力」発信を行い、まちの良さを感じていただくことで“四日市ファン”を増やし、また、“まちでがんばる人”を応援することで、さらなる活力を生み出す契機とするため、市民等が企画するイベントに対し、その経費の一部を補助する。

【主な事業】 市制施行 123 周年記念事業費 33,119 千円

4. 中核市移行の推進について

中核市移行に向けて、三重県が令和 4 年度未完了に向けて進めている産業廃棄物不適正処理事案に関する対策工事の進捗状況を把握しながら、国・県と移行時期について協議・調整を進めるとともに、それ以外の県から移譲される事務及び権限の内容に関する協議、職員の派遣研修等の諸準備について調整を行う。

【主な事業】 中核市移行推進事業費 1,130 千円

5. 土地開発公社より移管された土地の管理について

四日市市土地開発公社の健全経営に関する特例条例で規定する特例措置期間が平成 30 年度末で終了したことに伴い、取得した 305 筆約 45ha の土地について、現況及び事業計画等に基づく担当部局へ移管するなど、適切に管理するとともに、売却に向けた不動産鑑定評価を行う。

また、新保々工業用地について、引き続き猛禽類の生息・繁殖状況の把握に努めるとともに、事業化に向けて具体的な準備を進める。

【主な事業】 土地開発公社清算事業費 25,000 千円

6. 国際交流の推進について

ロングビーチ市への交換学生・教師の派遣事業の実施や四日市・天津経済交流センター事業への支援などを進め、両市との友好親善を図る。また天津市との友好都市提携 40 周年を迎えるため、記念事業として両市公式訪問団の相互訪問、青少年スポーツ交流、天津芸能団の受入、経済代表団の受入などを行う。

また、「四日市市産業活性化戦略に関する提言書」に基づく中小企業の海外展開を促進するための戦略的姉妹都市提携について、平成 28 年度に経済交流に関する覚書を締結したベトナム、ハイフォン市等との交流を進めるとともに、新たな国・都市との経済交流の可能性についても、調査・研究を進める。

【主な事業】	姉妹友好都市交流事業費	26,288千円
	国際経済交流等関係経費	2,000千円

7. 四日市港の機能強化及びみなとまちづくりについて

本市に集積する産業を物流面から支えるため、コンテナ貨物、バルク貨物、自動車、エネルギー関連貨物などのすべてを総合的かつ国際的に扱う港湾として、港湾機能の充実をより一層図る。

物流の観点からは、霞ヶ浦地区におけるコンテナ機能の高度化・効率化や災害対応力の強化、完成自動車取扱機能の集約化やバルク貨物取扱能力の強化等を目的に新たなコンテナ耐震強化岸壁の整備を促進し、機能強化を図るとともに、背後地の住民、企業や港の利用者等の生命・財産を守るため、港湾施設・海岸保全施設の計画的な耐震・老朽化対策を推進する。

また、平成30年4月の「四日市・いなばポートライン」の開通をはじめ、新名神高速道路や東海環状自動車道といった高速道路網の整備により物流需要の高まった四日市港の強みを生かし、利用者のニーズを踏まえた積極的なポートセールスを展開し、航路誘致・集荷促進対策など、国際物流機能の強化に向けた取組を推進する。

人流の観点からは、受け入れ可能な日本客船などを四日市地区へ誘導するとともに、歴史的・文化的価値を有する「末広橋梁」、「潮吹き防波堤」やコンビナート夜景など、本市の特色ある産業観光資源を活かし、四日市港の発祥の地である四日市地区を再生するため、関係者と連携し、中心市街地と連携したみなとまちづくりプランを策定する。

【主な事業】	四日市港管理組合負担金	1,182,093千円
	みなとまちづくり協議会負担金	4,500千円

8. 首都圏におけるシティプロモーションの推進について

首都圏という東京事務所の立地条件をいかし、四日市の魅力発信や都市イメージの向上に取り組むとともに、本市において実施している、四日市に「来て、観て、感じて」もらうための施策を支援していく。

【主な事業】	首都圏におけるシティプロモーション推進事業費	2,700千円
--------	------------------------	---------

(新) 市制施行 123 周年記念事業 (市民企画イベント補助事業)

1. 目的

本市が市制施行 123 周年を迎える令和 2 年度は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催により世界中から注目が集まるとともに、翌年には三重とこわか国体・三重とこわか大会を控え、新たな活力が生まれることが期待されている。このような機運の高まりの中で、市内外の人に「四日市の魅力」発信を行い、まちの良さを感じていただくことで“四日市ファン”を増やし、また、“まちでがんばる人”を応援することで、さらなる活力を生み出す契機とするため、市民等が企画するイベントに対し、その経費の一部を補助する。

2. 内容

- (1) 対象者 四日市市内に在住、在勤、在学する市民を含む、又は市内で活動する市民活動団体、NPO法人、企業 等
- (2) 対象事業 新規事業もしくは既存事業の拡充部分で、以下の①～③の項目全てを満たす事業
- ①以下のいずれかに該当する事業
 - ・123 周年を契機に、市内外に四日市の魅力を発信する。
 - ・まちの良さを「来て・見て・感じて」もらうことで“四日市ファン”を増やす。
 - ・魅力的な活動で“まちでがんばる人”をさらに増やし活力を生む。
 - ②実施団体の構成員以外の者が広く参加できる事業
 - ③令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日の間に、市内で実施する事業
- (3) 支援内容
- ①補助金 補助対象経費の 3 分の 2 (上限 100 万円)
 - ②123 周年記念グッズやイベント用品等の提供や貸与
 - ③123 周年記念シンボルマークの使用
 - ④123 周年記念事業として各種媒体での広報
- (4) 今後のスケジュール
- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 令和 2 年 2 月初旬 | 周知・募集・受付開始
(広報よっかいち 2 月上旬号掲載) |
| 3 月上旬 | 第 1 回審査会開催、交付決定 |
| 4 月 1 日以降 | 補助対象イベントの開催 |

3. 予算額 33,119 千円 (財源内訳) その他特財 33,000 千円
(まちづくり事業基金繰入金)
一般財源 119 千円

(担当) 政策推進部 政策推進課
加藤、大野
TEL : 354-8112

国際交流事業

(姉妹友好都市交流事業費、国際経済交流等関係経費)

1. 目的

姉妹都市米国ロングビーチ市、友好都市中国天津市等との交流事業を通じ、市民の国際理解を深めるとともに友好親善を図る。また、中小企業の海外展開を促進するため、国際経済交流に関する調査・研究を進める。

2. 内容

(1) 姉妹友好都市交流事業費

①天津市との交流事業 23,953千円

【友好都市提携40周年記念事業】

四日市市と天津市とは、昭和55年(1980年)10月28日に友好都市提携を締結し、令和2年度に40周年の節目を迎える。これを記念して、両市市民の友好交流や相互理解をさらに深めるため、両市代表団の相互訪問、青少年によるスポーツ交流、天津芸能団を招いての文化交流等の事業を実施する。

②ロングビーチ市との交流事業 1,826千円

四日市市とロングビーチ市とは、昭和38年(1963年)10月7日に姉妹都市提携を締結し、昭和40年(1965年)から、夏休みを利用した交換学生(高校生)2名、教師1名(通称トリオ)の相互派遣を行っている。令和2年度は本市からトリオをロングビーチ市へ派遣し、市内の家庭に滞在しながら、米国の文化や生活を体験するとともに、学校訪問や各種行事への参加を通して市民交流を深める。

③その他の事業等 509千円

ベトナム、ハイフォン市やカナダなど本市との関係がある海外からの訪問団の受入等を行う。また、三四地区内の高校等への国際交流アンケートを実施し、青少年交流の状況を把握するとともに、本市の国際化の推進に利活用する。

(2) 国際経済交流等関係経費 2,000千円

「四日市市産業活性化戦略に関する提言書」に基づく中小企業の海外展開を促進するための戦略的姉妹都市提携について、平成28年度に経済交流に関する覚書を締結したベトナム、ハイフォン市等との交流を進めるとともに、東南アジア地域を中心に、新たな国・都市との経済交流の可能性についても、引き続き調査・研究を進める。

3. 予算額 28,288千円 (財源内訳) その他特財 7,408千円
(前年度 16,893千円) (国際交流基金繰入金、国際交流支援助成金)
一般財源 20,880千円

担当	政策推進部	秘書国際課	政策推進部	政策推進課
	吉田	Tel 354-8097	大野	Tel 354-8112

首都圏におけるシティプロモーション推進事業費

1. 目的

首都圏という東京事務所の立地条件をいかし、四日市の魅力をより多くの方に知っていただくための情報発信や都市イメージの向上に取り組むとともに、本市において実施している、四日市に「来て、観て、感じて」もらうための施策を支援していく。

2. 内容

首都圏における認知度や都市イメージ向上のための魅力発信に努めるほか、観光情報のPRや地場産品等の販売促進につながるイベントを担当部局と連携して都内の人が集う場所などで開催する。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたホストタウン関連情報や四日市で開催されるイベントなどの旬な情報や魅力を、首都圏において企業等と連携を図りながら発信する。

(1) 都市イメージ向上イベントの開催

四日市の旬な情報や魅力の発信につながる様々なテーマを設けたイベントとして開催する。

(2) 物産観光イベントの開催

津市と連携した地場産品の販売および観光PRを目的としたイベントについて、効果的な開催場所を選定し実施するとともに、ふるさと納税イベントに出展し、地場産品の魅力や観光等の地域情報などの発信に努める。

(3) ホストタウン関連PRの実施

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けてカナダ体操チームが本市で事前キャンプを行うことを契機としたPRを実施する。

(4) その他首都圏で開催されるイベント等への参画

(5) 担当部局等が首都圏で開催するイベント等の支援

3. 予算額 2,700千円 (財源内訳) 一般財源 2,700千円
(前年度 2,200千円)

担当 政策推進部 東京事務所
中村、服部
TEL 03-3263-3038

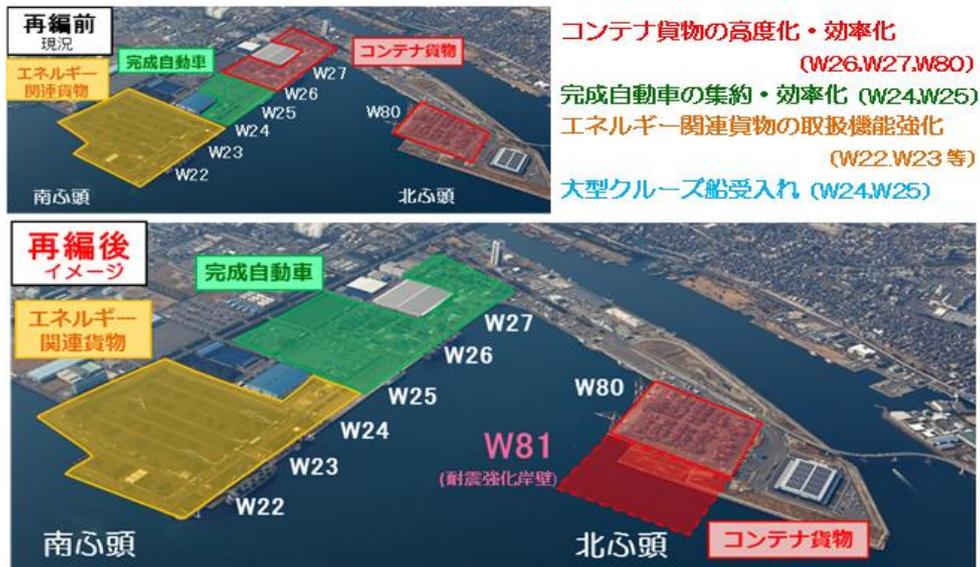
(新) 四日市港霞ヶ浦地区北ふ頭整備事業
(四日市港管理組合負担金)

1. 目的

四日市港が、日本の代表的な国際拠点港湾として本市の多様なものづくり産業の成長と発展を物流面で支える港であり続けるために、霞ヶ浦地区において、取扱機能の高度化・効率化及び災害対応力の強化、ふ頭の混雑解消を図ることを目的に、新たなコンテナ耐震強化岸壁の整備を促進する。

2. 内容

令和元年10月、四日市港が地域の暮らしを守り、背後圏産業の発展を支えていくために港湾関係者（主な関係者：三重県、四日市市、四日市港管理組合、四日市商工会議所、四日市港利用促進協議会、荷主企業）とともに設立した「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」の一員として、事業推進に向けた国への要望活動を行い、整備を促進する。令和2年度は、要望活動やフォーラムを行うことで機運を高めるとともに、直轄事業として行う「耐震強化岸壁の整備」及び「霞ヶ浦防波堤の改良」に係る調査・設計を実施するにあたり、管理組合負担分について、四日市港管理組合負担金の一部として負担する。



3. 予算額 4, 4 4 0 千円 (財源内訳) 一般財源 4, 4 4 0 千円

(参考：令和2年度四日市港管理組合負担金総額 1, 1 8 2, 0 9 3 千円)

担当 政策推進部 政策推進課 花尻 TEL 3 5 4 - 8 1 1 2

(新) みなとまちづくり推進事業 (みなとまちづくり協議会負担金)

1. 目的

四日市港の発祥の地である四日市地区は施設の老朽化が著しく、再生が求められており、平成30年度に『四日市港の「機能強化」と「みなとまちづくり」を考える会』において、ロードマップ及び行動計画が取りまとめられた。そのロードマップに示された同地区の再生に向け、同地区が中心市街地に近い利点を活かした市民の憩いの場としての利活用など、中心市街地と連携したみなとまちづくりを推進する。

2. 内容

関係者（主な構成員：四日市市、四日市港管理組合、四日市商工会議所、四日市港利用促進協議会、四日市港湾事務所）が共にみなとまちづくりを進めていくため官民連携の協議会を設立し、ガイドラインとなるみなとまちづくりプランを策定する。

なお、みなとまちづくりプラン策定における検討対象区域は、JR四日市駅周辺から四日市港の四日市地区までの臨港地区を含む都市計画区域を対象としており、当該区域における計画策定にかかる費用を四日市市と四日市港管理組合が負担する。



3. 予算額 4,500千円 (財源内訳) 一般財源 4,500千円

担当 政策推進部 政策推進課
花尻
TEL 354-8112

総 務 部

新年度予算における基本的な方針

人口減少や高齢化などの社会環境が変化する中でも、本市が市民に不可欠な行政サービスを安定して提供していくため、職員体制の充実や働きやすい職場環境の実現、組織機構の改革に取り組むとともに、スマート自治体の実現に向けた情報化の推進などによりさらなる業務の効率化を目指す。

公正な行政運営を推進するため、法務、公文書管理や入札契約制度、工事検査などの各種の内部管理業務を適正に執行するほか、個人情報取扱事務の適正な運用管理、情報セキュリティ対策を継続実施するとともに、開かれた市政の実現を図るため、市政情報の情報公開を推進する。

一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権・同和行政についての答申等を踏まえた施策の推進を図る。

市民から信頼される市政の実現を図るため、時代の変化に適応した職務遂行能力の向上に資する職員研修を実施し、市民の視点に立って自主・自立の精神で積極果敢に行動できる職員の育成に努める。

1. 働き方改革の推進について

働き方改革推進本部において、職員のワーク・ライフ・バランスを確保するため、職員の意識改革に継続的に努めるほか、男性の育児休業の促進、また時差勤務や週休日振替制度の積極的な活用などに取り組むとともに、業務の効率化を図るため、A I（人工知能）・R P A（ロボットによる自動化）等の最先端技術を活用した業務改善の本格導入に向けた取り組みをさらに進め、働きやすい職場環境を整備する。

【主な事業】 A I ・ R P A 等活用促進事業費 21,800千円

2. 人権施策の推進について

新総合計画に掲げた「多様な人権を尊重するまちづくり」の実現に向けて、差別の解消の推進に関する法律の趣旨を理解し、すべての市民が自分らしく生きられる社会となるよう、よっかいち人権施策推進プランや同和行政についての答申等を踏まえた施策の推進を図る。

さらに、地域における人権教育・啓発・学習の拠点である人権プラザの利便性、安全性の向上を図るため、施設の改修等を行い、市民利用を促進する。

【主な事業】	人権教育・啓発推進事業	12,500千円
	人権意識向上・人材育成事業	6,250千円
	(うち職員研修所分)	1,200千円
	人権相談体制強化事業	1,200千円
	人権活動拠点施設整備事業費	87,978千円

3. 職員研修の充実について

職員研修については、職員の意識と職務遂行能力のさらなる向上を図るため、主に職場外研修として、階層別研修、建設技術系職員研修、特別研修、派遣研修の4つの柱で職員研修を実施する。

階層別研修については、効率的な業務遂行やワーク・ライフ・バランスの取組を進めるため、中堅的存在である係長級職員を対象として、マネジメントや部下育成・指導能力向上研修を実施する。また、法令遵守及び公務員倫理研修を継続して実施するとともに、政策形成能力、接遇等も含め、階層・年代に応じた能力等の養成に努める。

建設技術系職員研修については、高い専門性が求められる建設技術系職員の知識、技術力等の向上を図るため、主に若手職員を対象とした専門研修を実施する。

特別研修については、組織として効率的な行財政運営に必要な能力を養成する研修を実施する。

派遣研修については、市町村アカデミー、技術系職員研修機関等の外部研修機関へ積極的に職員を派遣する。

【主な事業】	階層別研修費	7,242千円
	建設技術系職員研修費	1,230千円
	特別研修費	2,757千円
	派遣研修費	6,841千円

4. 情報化の推進について

新総合計画に掲げた「スマート自治体の実現」に向けて、業務プロセスの標準化や行政手続のオンライン化に取り組む。

また、住民情報システム等の窓口業務を支援するシステム及び行政内部事務の効率化を図るシステムの安定運用に努めるとともに、ホストコンピュータの使用終了に伴う各システムの更新を段階的に進め、情報システム全体の最適化に取り組む。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用経費	207,294千円
	行政内部のIT化事業費	212,903千円
	行政内部のIT基盤整備費	421,724千円
	行政サービスのIT化事業費	24,202千円
	番号制度関連システム経費	16,370千円
	AI・RPA等活用促進事業費	21,800千円（再掲）
	情報システム最適化推進事業費	341,483千円
	負担金（三重県自治体情報セキュリティクラウド運用費等）	5,044千円

5. 国勢調査の実施について

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした5年に一度実施する最も基本的な調査であり、令和2年10月1日現在での調査に向けて、正確かつ円滑な実施に努める。

【主な事業】	基幹統計調査費（国勢調査）	148,617千円
--------	---------------	-----------

6. 入札契約制度について

入札及び契約の透明性、公正性及び競争性を高めることを基本理念として、適正な入札契約制度による執行を行う。

入札にあたって、総合評価方式等も含めた適正な入札方法の採用、適正な仕様及び納期等の契約条件の設定、過度な価格競争への対応等により、健全な競争環境の確保に努める。

7. 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に基づき、発注者の責務として工事中及び完成時の履行状況の確認及び評価を適切に実施することが求められていることから、施工途中における監督職員の確実な段階確認の指導に努め、適正な履行を確認するための工事検査を実施する。また、受注者の技術能力についても適切な評価を与える。

8. 選挙の執行について

令和2年12月23日の任期満了に伴う市長選挙を適正かつ確実に執行する。

【主な事業】	市長選挙費	105,257千円
--------	-------	-----------

(決算議会等の指摘に対する主な取り組みについて)

・ 職員の採用について

職員確保に向けた令和元年度の新規事業として、受験希望者を対象とした業務説明会を実施したほか、職員採用につながるようプロモーションビデオを作製し、ユーチューブ及びデジタルサイネージにて放映を行った。

また、学生だけではなく転職者を対象とした就職セミナーに参加し、受験者の増加に努めた。

令和2年度においても継続実施するとともに、技術職員の不足や30代半ばから40代半ばの職員数が少ないことに起因する課題の解消に向けて、受験しやすい環境の整備として採用年齢や試験期間など職員採用方法の検討を行う。

今後も引き続き、働き方改革の推進によって働きやすい職場環境を実現し、その職場環境をアピールすることによって職員採用につなげていく。

人権教育・啓発推進事業

1. 目的

市民の人権尊重の意識を高め、差別をなくす行動に結びつけるため、教育・啓発に係る教材の開発に継続して取り組むとともに、それらを活用した人権教育・啓発を推進して、地域における人権・同和教育を充実させる。

また、インターネット時代におけるメディア・リテラシーを養成するため、社会教育の側面からも教材開発に取り組むことで、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に努める。

2. 内容

(1) **【拡充】** 各地区人権・同和教育推進協議会等への支援 11,500千円
各地区人権・同和教育推進協議会や各ブロック協議会がそれぞれの地域、及び複数の地域を対象として実施する教育・啓発・広報活動・交流活動等の支援を行う。(広域事業配分額 上限30万円×2地区分を拡充)

(2) 人権学習教材調査・作成 1,000千円
部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けた施策に活用できるよう、アウトリーチ(地域の見まわり)や人権相談業務等を通じて差別の実態を把握し、インターネットと人権に関する啓発冊子等、人権啓発のための教材等の開発・作成を行う。

3. **予算額** 12,500千円 (財源内訳) 一般財源 12,500千円
(前年度 11,586千円)

担当 総務部 人権センター
田中
TEL: 354-8157

人権意識向上・人材育成事業

1. 目的

市民が人権について基本的な知識を習得するとともに、より専門的な知識を深めるための学習機会の拡充を図る。

さらにインターネット上での人権侵害など新たな課題に対応するため、メディア・リテラシーの養成の講座等を実施することで、市民一人ひとりの人権意識を高める。加えて、市内各地区の人権・同和教育推進協議会や四日市人権啓発企業連絡会^(*)等の活動発表・啓発の機会を確保することで市民の人権意識の向上を図る。

また、職員が業務を遂行するにあたり、さまざまな人権問題を正しく理解し、複雑化・多様化する人権課題に対し、主体的かつ積極的に解決に取り組むための研修を実施する。

(*) 四日市人権啓発企業連絡会

企業の立場からあらゆる差別をなくすため、企業相互が連携し啓発活動に取り組む組織(市内に本社・支社がある 95 社が参画)

2. 内容

(1) よっかいち人権大学の開催 1, 750 千円

人権について広く学び、理解を深めるため、基本的な認識や知識を得ることができる「よっかいち人権大学あすてっぷ」と、より人権に関する専門的な知識を深める「よっかいち人権大学ステップアップ講座」を開催する。

(2) じんけんフェスタの開催 3, 200 千円

12 月の人権週間に合わせて、広く市民に対して人権を考える機会として、人権講演会や、市内人権啓発活動団体の取り組み等を紹介する「じんけんフェスタ」を四日市市文化会館において開催する。

(3) 【拡充】 四日市人権啓発企業連絡会への人権研修等の活動支援 100 千円

多様な人権課題に対応できる企業づくりの推進と働く世代の人権意識の向上を図るため、企業の人事労務担当者に対する啓発や人権研修等の活動を支援する。

(4) 【拡充】 職員人権研修 1, 200 千円

人権問題への認識を深め、人権感覚を養うため、階層別研修等において、さまざまな人権に関する研修を実施する。また、部落差別について、理解を深め解消を推進する意識の持続をはかるための研修を、管理職の職員等を対象として実施する。

3. 予算額 6, 250 千円 (財源内訳) 県支出金 (1/2, 10/10) 521 千円
(前年度 5, 864 千円) その他特財 2, 894 千円
(まちづくり事業基金繰入金)
一般財源 2, 835 千円

担当	総務部	人権センター	田中
			TEL: 354-8157
	総務部	人権・同和政策課	舘
			TEL: 354-8293
	総務部	職員研修所	倉城
			TEL: 354-8128

人権相談体制強化事業

1. 目的

インターネット上の人権侵害や性の多様性など新しい人権課題などに対応することができるよう、相談業務に従事する職員自らの資質を検証・向上できる機会を提供する。

また、各相談員間や、人権擁護委員など、人権に係わる各種団体等との連携を図ることで、被差別被害者に寄り添うきめ細かな相談体制を目指す。

相談から得られた知見や課題等を関係課で共有し、被差別者支援の施策につなげるための仕組みを構築する。

2. 内容

(1) 相談員資質向上事業

1,000千円

相談ネットワーク連絡会の充実及び相談員間の連携強化や弁護士による法律学習会及び相談の実施、相談実務担当者を対象とした相談技法修得のための機会提供、相談員スーパーバイザーによる相談への対応アドバイス、新しい人権課題についての知識習得、相談対応の学習会を実施する。

人権擁護委員など、人権に係わる各種団体等との連携を図るために合同学習会や公開講座を実施する。

(2) 相談体制のあり方研究

200千円

これまで培ってきた相談実績等を元により良い相談体制のあり方について研究するため、関係法等に関する研修や新しい人権課題の知識習得・相談対応に向けた学習会を実施する。

3. 予算額

1,200千円
(前年度 1,040千円)

(財源内訳) 一般財源 1,200千円

担当 総務部 人権センター
田中
TEL: 354-8157

人権活動拠点施設整備事業

1. 目的

人権啓発の拠点である人権プラザ等において、広域的な人権事業の展開、人権教育・啓発の推進、人権に関する市民活動の支援など、人権活動を推進していくために、利用者の誰もが利用しやすい人権活動拠点として整備していくとともに交流拠点機能の強化を図る。

2. 内容

(1) 照明設備のLED化事業 4,350千円

省エネルギー化及び維持管理費の低減化を図るため、LED化未実施の全ての照明設備をLED化する。

- ① 赤堀児童集会所照明設備改修工事 2,000千円
- ② 天白児童集会所照明設備改修工事 2,000千円
- ③ 人権プラザ小牧照明設備改修工事にかかる設計業務委託 350千円

(2) トイレの洋式化事業 350千円

トイレの利便性向上及び清潔な衛生環境を整備するため、和式トイレの洋式化工事にかかる設計業務委託を実施する。

- ① 人権プラザ小牧トイレ洋式化工事にかかる設計業務委託 350千円

3. 予算額 4,700千円 (財源内訳) 一般財源 4,700千円
(前年度 6,916千円)



LED化未実施の照明設備

担当 総務部 人権・同和政策課
濱田
TEL: 354-8156

AI・RPA等のICT活用促進事業

1. 目的

職員の長時間労働の削減や将来の働き手不足に備えるため、全庁的な働き方改革の手段の一つとして、AI（人工知能）やRPA（ソフトウェアロボットによるホワイトカラー定型業務の自動化処理）等のICT（情報通信技術）を活用し、業務プロセスの自動化や業務自体の質の向上を図ることにより、職員の労働環境を改善するとともに、さらなる市民サービスの充実を図る。

2. 内容

(1) AI等導入による庁内業務効率化 17,487千円

令和元年度にAI等導入検討部会で決定した先端技術を導入し、その成果を庁内掲示板や説明会を通じて広く共有する。

また、同様の先端技術を適用できる新業務を募集して積極的な横展開を図るとともに、並行して次年度に導入を検討する先端技術について調査研究・実証実験を行う。

[令和元年度にAI等導入検討部会で導入を決定した先端技術の内訳]

- | | |
|-------------------------|---------|
| ① 議事録作成支援業務…音声認識 | 6,000千円 |
| ② 各手続き書類の自動取込み業務等…RPA | 3,367千円 |
| ③ 水道アンケート集計業務等…AI-OCR | 1,320千円 |
| ④ 庁内行先案内自動化業務…AIチャットボット | 6,800千円 |
| ⑤ 多言語通訳・翻訳支援業務…遠隔通訳サービス | |

(市民生活課多文化共生推進室予算 2,302千円)

(2) AI等活用による業務効率化支援業務委託 4,000千円

先端技術の活用事例や民間企業が提供する各種サービスの情報収集、導入に係る効果分析等を行うため、ICTの専門知識を有するコンサルタントにサポート業務を委託する。

(3) 先進的な活用事例の調査研究 313千円

AI等導入検討部会が先端技術の導入を検討する新業務について、関係所属の職員が他自治体の先進的な活用事例の視察や、先端技術を紹介する最新情報のセミナー等で情報収集を行う。

(前年度実績：茨城県水戸市、福井県永平寺町、愛知県一宮市、AI・RPA等に関するセミナー等)

3. 予算額 21,800千円 (財源内訳) 一般財源 21,800千円 (前年度10,000千円…「AI等を活用した庁内業務改善事業」)

担当 総務部 ICT 戦略課
伊藤
TEL:354-8126

(新) 情報システム最適化推進事業

1. 目的

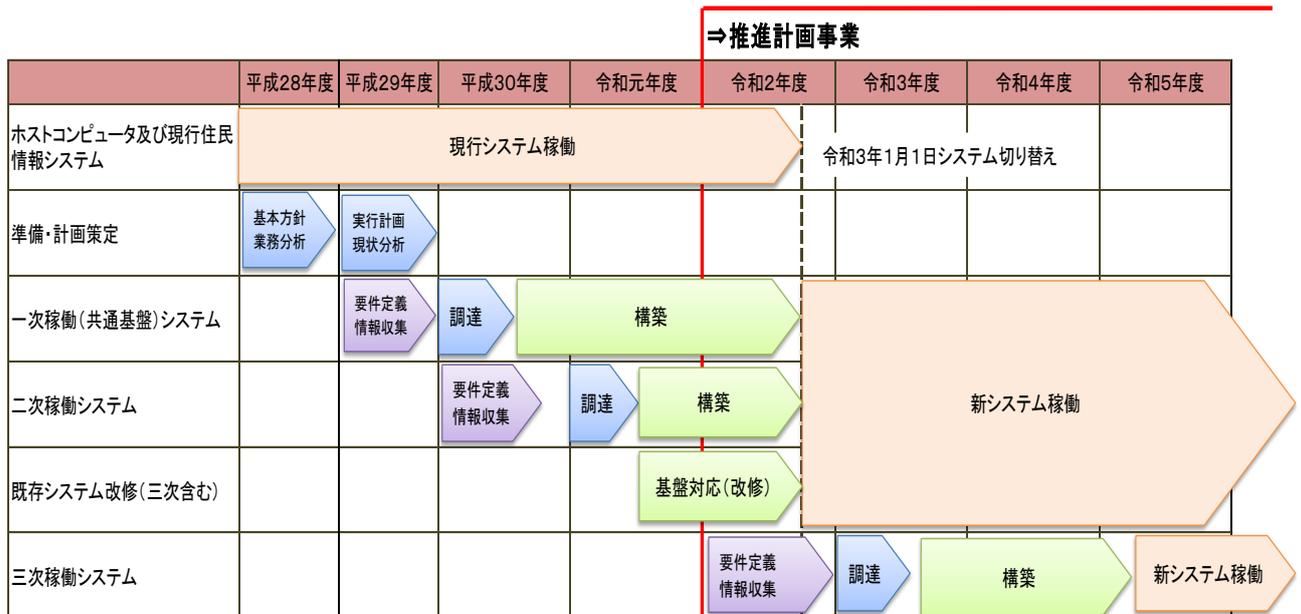
長年運用してきたホストコンピュータを中心とした情報システムについて、令和2年12月にホストコンピュータの使用期限を迎えることや、住民情報システムが令和3年2月に保守期限を迎えることに伴い、硬直化・複雑化してきた現行の情報システムを全面的に刷新するため、業務の共通化・標準化による情報システム全体の最適化を行い、新たな住民情報システム等を構築する。

2. 内容

(1) 最適化方針について

- ・ホストコンピュータの代替として共通基盤システムを導入し、共通基盤システムを中心に各業務システムのデータ連携を行う仕組みを構築することで、各業務システムが他業務システムとのデータ連携に依存することなく、個々に業務要件に適したシステムの選定を可能とし、業務運用の効率化を図るとともに行政サービスの向上を図る。
- ・標準パッケージによるシステム導入を前提とし、業務プロセスの見直しを行うとともに、カスタマイズをできるだけ抑制することで標準化を図り、システムの安定性を得るとともに運用保守経費を節減する。

(2) スケジュール



※二次稼働システム：税総合、国保年金、住宅、清掃、健康管理、選挙人名簿管理、学籍・就学援助
 既存システム：住基、保育子育て、後期高齢者、受益者負担金、人事給与
 三次稼働システム：保健福祉総合、介護保険、障害者自立支援、他

(3) 効果

①システム課題の解決

- ・硬直化、肥大化による改修時などの品質劣化リスク及びコスト増からの脱却
- ・パッケージシステムを業務単位で導入できることから競争性、透明性が向上
- ・ホストコンピュータの技術者の減少による維持管理の困難さの解消

②業務運用の効率化

- ・システム連携構造の整備によるシステム稼働の効率化
- ・業務プロセスのドキュメントを整備（業務フローなどの作成により業務のプロセスを明確にすることなど）し、それを職員間で共有化することで、新人教育を含めた働き方改革の一翼を担う

③行政サービスの向上

- ・最新のパッケージシステムの導入により、新たな技術導入がしやすくなる
- ・個人情報に留意した住民情報データを有効活用し、客観的根拠に基づいた政策の立案（EBPM）やオープンデータの検討ができるようになる

3. 予算額

341,483千円

(財源内訳) 一般財源

341,483千円

担当 総務部 ICT 戦略課 勝又 TEL:354-8106

(新) 官民データ利活用事業
(新) マイナンバーカードを活用した行政手続オンライン化事業

1. 目的

自治体や民間が保有しているデータ（官民データ）を二次利用可能な形に加工した上で公開（オープンデータ）し、市・市民・企業が地域課題の解決や新ビジネスの創出等に活用できる環境基盤を整備する。

また、市民サービスの利便性向上に向けて、あらゆる行政手続において、マイナンバーカードを使って自宅・事業所で各種手続きが完結できる電子申請サービスの提供により、市民や事業者の負担を軽減する。

2. 内容

(1) 官民データ利活用事業 500千円

本市の官民データの取り組みをまとめた「官民データ活用推進計画」の策定に向けて、先進自治体の官民データ利活用事例の視察や情報収集等を行う。

- ① 先進自治体への視察、情報収集 300千円
- ② データ利活用に関する研修参加 200千円

(2) 行政手続のオンライン化事業 500千円

オンライン申請の導入に向け、先進自治体の導入、運用事例の視察や情報収集を行う。また、オンライン申請に関する実証実験を行い、マイナンバーカードを活用した電子申請サイトの運用課題等を把握し、今後のシステム構築の基礎資料とする。

3. 予算額 1,000千円 (財源内訳) 一般財源 1,000千円

担当 総務部 ICT戦略課
林
TEL:354-8126

財 政 経 営 部

新年度予算における基本的な方針

令和2年度は、令和の新時代を切り拓く新しいまちづくりに向けて、新総合計画（2020～2029年度）に位置付けた重点的横断戦略プランや推進計画の各事業に重点的・集中的な予算配分を行った。さらに、人口減少や高齢化など、社会環境が変化する中であっても、市民が豊かで幸せに暮らせる持続可能な都市を創造していくため、これまでの費用の抑制や質の向上だけでなく、持続可能な行政サービスや効率的な業務執行、組織体制の充実を目指す取り組みを重視した予算編成を行った。

歳入の根幹をなす市税の賦課徴収業務では、適正な課税を行うとともに、市民負担の公平性の観点から、引き続き課税対象の的確な把握に努める。また、納税者に税制度について十分な理解が得られるよう周知・広報を図るとともに、自主納付の推進と適正かつ効果的な滞納整理に取り組むことにより、さらなる収納率の向上及び累積滞納額の削減を図る。

さらに、本市が保有するすべての公債権及び私債権について、債権管理推進本部を中心に、債権管理基本方針に基づき、各所管課の債権管理推進員と債権管理の手続きや取り組み事例の情報を共有するなど連携を図り、より適正な債権管理を進めるとともに、横断的な調整を行い、各債権所管課が主体的に滞納整理に取り組むことで効果的な回収に努める。

市が保有する財産については、適正な管理を実施するとともに、不要な資産の売却や有効活用を図る。

また、四日市市公共施設等総合管理計画に基づき、少子高齢化などの社会情勢の変化にあっても必要な行政サービスを持続的に提供していくため、公共施設を安全で健全な状態で維持できるよう「公共施設の適正管理」に取り組む。

1. 健全な財政運営の推進について

財政プラン2020（令和2～4年度）に掲げる目標の達成に向けて、引き続き財政規律を堅持するとともに、将来にわたり持続可能な財政運営を行う。

【主な事業】 財政管理経費 4,963千円

2. 行財政改革等の推進について

行政改革プラン2020（令和2～4年度）における各改革項目の進捗管理を行う。

また、新地方公会計制度に基づく、施設別行政コスト計算書等の作成を行い、得られる数値を庁内で情報共有することにより、職員のコスト意識を醸成する。

指定管理者の公募・選定を適正に実施するとともに、指定管理者のモニタリン

グを実施する。

【主な事業】 行財政改革推進費 4, 775千円

3. 市税の賦課徴収について

(1) 土地評価業務

令和3年度評価替えに向け、本市における開発等に伴う環境の変化、道路や下水道の敷設状況等の変化を調査・数値化し、路線価に反映することにより、適正な評価による課税を図る。

【主な事業】 土地評価関係経費 44, 153千円

(2) 市税自主納付の推進と滞納額の削減

市税収納については、引き続き個人住民税特別徴収を促進するとともに、口座振替の一層の普及に努め、自主納付、納期内納付の一層の推進を図る。

滞納額の削減のため、市税滞納については、滞納初期の段階で納付交渉を行い、納付困難な場合には生活状況に応じたきめ細かい納付相談を行うとともに、所管課から移管を受けた税外債権とあわせ適正かつ効果的な滞納整理を実施する。

【主な事業】 自主納税推進経費 22, 243千円
税外債権滞納整理事業費 8, 804千円

4. 保有資産の適正な管理と不要資産の売却等の推進について

市が保有する財産について、除草・剪定などの適正な維持管理を行うとともに、土地の境界確定・測量を進める。また、不要資産については、売却や貸付を行うことで、財産収入の確保を図り、維持管理経費の縮減に努める。

【主な事業】 普通財産管理費 5, 792千円
登記事務費 7, 548千円

5. 市庁舎等の適正な管理運営について

公共施設等総合管理計画に基づき、市庁舎等の施設を適正に維持管理するため、計画的な予防保全工事として、本町プラザ空調設備更新工事や総合会館空調設備更新工事、市庁舎ファンコイル更新工事を前年度に引き続き行うとともに、新規事業として総合会館外壁改修等工事や市庁舎揚水ポンプ更新工事等を行う。加えて市庁舎北館機械設備更新工事や、総合会館エレベーター更新工事等に関する工事設計業務を行う。

また、前年度に着手した市庁舎トイレの改修工事を引き続き行う。

【主な事業】

市庁舎等整備事業費（アセットマネジメント）	337,160千円
市庁舎等管理運営費	649,038千円

6. 公共施設アセットマネジメントの推進

公共施設等総合管理計画に基づき、将来的な人口の動向や財政規模、少子高齢化などの社会情勢の変化にあっても必要な行政サービスを持続的に提供していくため、公共施設の適正管理に取り組み、計画的な予防保全や適正な維持管理を実施し、施設の長寿命化や維持管理コストの削減を図る。また、各施設の施設毎の長寿命化・更新の計画である個別施設計画を策定する。

7. 桜財産区の管理について

桜財産区が所有する山林の一部を公益財団法人四日市市文化まちづくり財団に貸し付け、アスレチックコース等の用に供するほか、その貸付収入で山林保育等の管理を行う。

（決算議会等の指摘に対する主な見直し事業）

・ 補助金・負担金一覧表の総括について

決算時に、補助金・負担金一覧表で総括資料を追加提出したことから、今後の当初予算資料においても、総括のページを追加することとした。

市庁舎等整備事業費（アセットマネジメント）

1. 目的

公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な予防保全工事により、施設・設備の長寿命化を図り、施設の維持管理経費の低減と財政負担の平準化を図る。

2. 内容

① 予防保全工事

・総合会館外壁改修等工事	101,000千円
・市庁舎揚水ポンプ更新工事	6,300千円
・本町プラザ空調設備更新工事【令和元年度～令和2年度】	87,700千円
・総合会館空調設備更新工事【令和元年度～令和2年度】	80,000千円
・市庁舎ファンコイル更新工事【令和元年度～令和2年度】	56,700千円

② 設計業務委託

・市庁舎北館機械設備更新工事設計業務委託	3,000千円
・総合会館エレベーター更新工事設計業務委託	1,960千円
・本町プラザキュービクル更新工事設計業務委託	500千円

3. 予算額 337,160千円 (財源内訳) 一般財源 337,160千円
(前年度 183,772千円)



総合会館外壁改修等工事(外壁)



総合会館外壁改修等工事(屋上防水)

4. 債務負担行為

- ・総合会館外壁改修等工事費

限度額 72,000千円

期間 令和2年度から令和3年度まで

(総事業費) 173,000千円

担当 財政経営部 管財課
五木田
TEL 354-8288

市庁舎等管理運営費 (債務負担行為)

1. 目的

市民の文化活動の場である四日市市総合会館集会施設について、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と経費の縮減等を図ることを目的とし指定管理者を募集する。

2. 内容

現在の指定管理期間が令和2年度で終了することから、次期指定管理者を選定するため、債務負担行為を計上する。

総合会館集会施設の管理・運営・貸館業務（指定管理）

- (1) 施設名称 四日市市総合会館集会施設
- (2) 所在地 四日市市諏訪町2番2号
- (3) 選定の考え方 公募
- (4) 指定管理期間 令和3年度から令和5年度まで（3年間）
- (5) 指定管理の業務と併せ、四日市市立視聴覚センター貸館業務(教育支援課所管)を委託する。

3. 債務負担行為

- ・総合会館集会施設の指定管理に係る協定
限度額 40,200千円
期間 令和2年度から令和5年度まで

担当 財政経営部 管財課
中 森
TEL 354-8299

桜財産区

財産区とは、市町村の一部で財産を有し、または公の施設を設け、その管理及び処分を行うことを認められた特別地方公共団体である。

本市では、桜財産区管理会が桜財産区の管理を行っている。

桜財産区が所有する山林等162,315.14㎡のうち、82,051.84㎡を公益財団法人四日市市文化まちづくり財団に貸し付け、アスレチックコース等の用に供するほか、その貸付収入で山林保育等の管理を行っている。

歳 入

(単位：千円)

科 目	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	比 較	説 明
1 財産収入	3,463	3,463	0	
財産運用収入	3,463	3,463	0	アスレチックコース貸付等
財産貸付収入	3,463	3,463	0	
2 繰越金	43,929	42,829	1,100	
3 諸収入	8	8	0	
預金利子	8	8	0	金融機関利子
預金利子	8	8	0	
合 計	47,400	46,300	1,100	

歳 出

(単位：千円)

科 目	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	比 較	説 明
1 総務費	283	4,227	△ 3,944	
総務管理費	283	283	0	桜財産区管理会委員報酬7名 管理事務費
一般管理費	283	283	0	
選挙費	0	3,944	△ 3,944	選挙事務費 (任期：令和元年5月30日 ～令和5年5月29日)
管理委員選挙費	0	3,944	△ 3,944	
2 農林業費	3,257	2,873	384	
林業費	3,257	2,873	384	山林保育経費（人夫報酬、植林 用苗木購入、草刈り機購入等）
林業費	3,257	2,873	384	
3 予備費	43,860	39,200	4,660	
合 計	47,400	46,300	1,100	

※参考

桜財産区管理会条例 第9条（管理会の同意を要する事項）
第9号

「毎年度の財産区の収入及び支出並びに決算に関すること」

担当 財政経営部 管財課 中森 Tel 354-8299

市 民 文 化 部

新年度予算における基本的な方針

急速な少子高齢化や生活様式の多様化、自然災害への対応など、本市を取り巻く環境が大きく変化する中、地域コミュニティを維持・向上させていくため、地区市民センターを核とした各種事業に取り組み、自治会への加入促進と自治会活動の推進を図る。また、市民協働による地域活動を促進し、地域における連帯感の醸成に資する取り組みを支援する。

文化振興については、地域で大切に受け継いできた伝統芸能をはじめとする市民の文化活動や文化交流を支援するとともに、乳幼児期から芸術文化に親しむことができるよう、新たに乳幼児と保護者を対象とした音楽体験の機会を提供する。また、文化活動の拠点である四日市市文化会館や三浜文化会館の利用促進に努める。併せて、本市の文化的な魅力を市内外に発信する。

窓口サービスについては、個人番号カードの普及促進に努めるとともに、証明書のコンビニ交付サービスの周知を図り市民の利便性の向上に努める。

あさけプラザについては、引き続き計画的に改修工事を行い、安全で快適な利用者に親しまれる場を提供していく。

さらに、市民一人ひとりが地域社会の構成員として互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らすことができる社会の実現を目指す。

1. 地域社会づくりについて

(1) 自治会、NPO、ボランティアなどが実施する、公益性が高く、継続的な市民活動に対して補助金の交付や活動の場の提供などの支援を行うことにより、それらの団体の育成及び市民活動の活性化を図り、多様化する地域課題の解決につなげていく。

特に、自治会への加入促進と自治会活動の推進については、地域住民の自治会への加入及び参加の促進への理解を深めるため、自治会の活動や役割等を紹介するパンフレットを作成し配布するなど、積極的な広報・啓発を行う。

また、多様な性のあり方に対する理解を深めるため、市職員への研修を行うとともに、行政窓口対応ハンドブックの作成などを行う。

一方、福祉や防災、防犯などさまざまな分野における地域の特色ある活動が迅速に遂行できるよう、地区市民センターの館長権限予算について、予算の配分をコンペ方式に変更することにより、地域コミュニティの維持・拡充への柔軟な支援を行う。

さらに、集会所建設費補助金を活用し、地域活動拠点である集会所の維持管理に対する支援を行う。

- (2) 市民協働促進計画に基づき、地域社会づくりを担う人材育成の取り組みを進めるため、専門的能力を提供して社会貢献するプロボノ活動など、市民活動団体等との協働事業を実施する。併せて、これまでの取り組みを踏まえ、さらなる市民協働の促進を図るため、次期市民協働促進計画の策定を行う。
- さらに、市民活動や地域活動などに積極的に携わることができる場として、なやプラザの管理運営を行う。
- (3) 市民活動・市民協働の地域におけるリーダー養成を目的とした地域づくりマイスター養成講座を引き続き開催し、これからの地域づくりの中心となる人材の育成とネットワークの構築を図る。
- (4) 安全なまちづくりに向けた住民による自主防犯活動について、パトロールに必要な防犯用具の購入等を支援する。また、自治会が管理する防犯外灯について、引き続き、LED灯に限定した新設・取替、電灯料に対する補助を行うとともに、新たな施策として、老朽化した防犯外灯の撤去にかかる費用に対する補助、専用柱の新設を伴う場合の補助上限額の引き上げ等を実施し、地域における防犯力の向上を図る。

併せて、自治会等が通学路など公共的な場所に向けて設置する防犯カメラに対する補助を引き続き実施するとともに、市が公共の場所に設置する防犯カメラについても、計画的に設置を進める。

また、繁華街におけるキャバクラ等の客引き行為等を防止するため、警察OBの客引き行為等適正化指導員による巡視活動や警察等と連携した合同パトロール等を引き続き実施するとともに、条例や活動等の強化について検討する。さらに、移転した四日市北警察署の跡地に治安・防犯機能の確保を目的とした地域防犯拠点施設の整備を行い、当該施設を核として、地域住民・警察等と連携し、犯罪抑止に向けた取り組みを実施する。

加えて、犯罪被害者等が一日も早く平穏な暮らしを取り戻すことができるよう、犯罪被害者等支援条例に基づく支援に取り組む。

【主な事業】	多様な性のあり方理解促進事業費	380千円
	自治会連絡事務費	70,707千円
	地区市民センター整備事業費	87,920千円
	地区市民センター整備事業費（アセットマネジメント）	13,000千円
	地域活動費（うち館長権限予算分）	28,800千円
	地域社会づくり総合事業費補助金	95,645千円
	地区市民センター住民運営推進事業費	80,217千円
	集会所建設費補助金	51,000千円
	防犯外灯新設維持費補助金	85,851千円

市民協働促進事業費	6, 781千円
地域づくりマイスター養成事業費	410千円
市民活動センター運営費	22, 044千円
四日市北警察署跡地整備事業費	22, 996千円
犯罪被害者等支援事業費	1, 165千円
客引き行為等防止啓発事業費	1, 514千円
地域防犯活動推進事業費	3, 300千円
防犯カメラ設置事業補助金	14, 400千円

2. 市民相談・消費生活相談事業について

日常生活上での家事や債務の問題、消費生活上のトラブル等に関する相談に応じ、市民が自主的に解決できるよう支援する。そのため、相談員の資質向上に努めるとともに、弁護士などの専門家による特別市民相談を実施する。また、消費者被害を未然に防ぐため、悪質商法への対処法、契約のルールや消費者のリテラシー向上についての出前講座を開催し、若者から高齢者まで、市民が安全・安心な生活が送れるよう、庁内の関係部署とともに、県や警察など関係機関と連携していく。

【主な事業】	市民相談室運営費	2, 169千円
	消費生活相談事業費	7, 700千円

3. 多文化共生推進事業について

国籍や文化の違いを豊かさとして生かし、すべての市民が共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。外国人市民が集住する笹川地区においては、多文化共生サロンを中心に、多文化共生モデル地区担当コーディネーターが戸別訪問などを行うことにより、外国人市民の生活実態やニーズの把握を行う。同時に、近隣に居住する日本人市民からも、外国人市民に対する意識や交流状況を聴取し、地域団体等とも連携しながら、住民同士の交流の促進、生活に根差した日本語の学習支援等、多文化共生の地域づくりのための事業を実施する。

また、全市的にも外国人市民が増加傾向にあることから、国等と連携しつつ、AI技術を用いた多言語での情報提供や相談を行う多文化共生総合相談ワンストップセンターの体制を整備するとともに、今後の多文化共生に関する取り組みの参考とするため、日本人市民、外国人市民を対象に、意識調査（アンケート調査）を実施する。

笹川地区に設置している「多文化共生サロン」を拠点に、生活マナーの啓発、日本語の習得、日本人市民との交流を外国人市民に提供しているが、年々増加

する外国人市民への拠点施設としては手狭であるため、新たに多文化拠点施設整備（設計）に係る基本計画を策定する。

【主な事業】	多文化共生推進事業費	14,306千円
	モデル地区共生推進事業費	10,728千円
	多文化共生サロン管理運営費	4,024千円

4. 文化振興について

市民芸術文化祭については、第70回の開催を記念し、子どもたちを中心に多くの市民が参加できる事業を企画するとともに、年間を通じて市民が芸術文化に親しみ参加する機会となるよう取り組む。

全国ファミリー音楽コンクールについては、四日市 JAZZ フェスティバルとの連携を深め、本市の魅力の一つとして積極的に市内外へ発信するとともに、市民が音楽文化により一層親しむことができる機会となるよう取り組む。

地域に伝わる文化行事や民俗芸能の保存・継承については、引き続き担い手育成や用具類などの更新等及び保管施設の改修等について支援する。

新たな取り組みとして、乳幼児期から音楽をはじめとした芸術文化に親しむことで、豊かな人間性の涵養と文化の担い手の育成につながるよう、乳幼児と保護者を対象に生の音楽に触れるコンサートを実施する。

市民の文化活動の拠点である四日市市文化会館は、より多くの市民が質の高い芸術文化に触れられるよう、指定管理者である公益財団法人四日市市文化まちづくり財団と密接な連携を図りながら文化振興事業を推進する。

また、市民の文化活動や生涯学習活動の場である三浜文化会館においては、さらに利用が進むようPRに努め、自主事業や施設の管理運営を行う。

【主な事業】	市美術展覧会開催費	4,646千円
	市民文化祭等開催費	9,700千円
	四日市音楽コンクール開催事業費	6,500千円
	四日市 JAZZ フェスティバル支援事業費	1,200千円
	文化振興事業支援補助金	2,811千円
	地域の文化遺産の保存・継承支援事業費	1,400千円
	こども芸術体験事業費	1,000千円
	文化会館等管理運営費	264,887千円
	三浜文化会館管理運営費	55,255千円
	文化会館大規模設備等改修事業費	1,210千円
	文化会館等施設整備事業費（アセットマネジメント）	1,210千円

5. 生涯学習活動支援について

市民大学一般クラスについては、さまざまなテーマの講座を市民活動団体や大学等の学術機関による企画運営で開催するとともに、熟年大学については、三浜文化会館において講座を開催し、高齢者が学びながら仲間づくりをし、社会参加への意欲を高め、地域づくりへと活動を発展させられるよう取り組む。

また、市民との協働で生涯学習情報を提供するなど、市民の生涯学習活動の支援を行う。

【主な事業】	市民大学一般クラス経費	2, 638千円
	熟年大学経費	2, 521千円
	地区市民センター生涯学習事業費	4, 999千円

6. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会、男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、現行の男女共同参画プランに基づき施策を推進するとともに、令和3年度からの次期男女共同参画基本計画を策定する。

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）については、ワーク・ライフ・バランスを進めることが、企業における経営戦略の重要な柱であるとの認識を深めてもらうとともに、企業や団体における取り組みが進められるよう、引き続き出前講座を実施する。また、働く女性、働きたい女性が抱える、キャリア形成や働く上でのさまざまな悩みに関する相談を継続して実施し、女性が自分らしく働いていくための支援を行う。さらに、女性活躍を推進するための新たな事業として、子育て等をしながら就職を希望している女性と企業とのマッチングの場を設けるとともに、企業等を対象に「女性の職業生活の推進に関する法律」に関する制度や取り組みを理解してもらうためのセミナーを開催する。

女性の相談やDV相談については、多様化・専門化する相談に対応するため、女性の弁護士による法律相談、女性の臨床心理士相談を引き続き実施するとともに、相談員の資質向上とメンタルケアのため、相談員のための相談・指導（スーパービジョン）を行う。また、男性向けには男性相談員による電話相談を実施する。さらに、配偶者暴力防止対策として、若年層を対象とした男女平等教育・デートDV予防教育出前講座を実施するとともに、DV防止講演会を開催するなど、DVは人権侵害であるという認識を広め、暴力を許さない意識づくりのための取り組みを進めていく。

【主な事業】	ワーク・ライフ・バランス推進事業費	2, 405千円
	学習機会提供事業費	2, 280千円

相談事業費	2, 6 6 3 千円
配偶者暴力防止対策事業費	3, 3 3 5 千円

7. 窓口サービスの充実について

個人情報をご正確かつ適正に管理し、戸籍や住所異動の届出受付、戸籍謄抄本や住民票の証明発行などの窓口サービスを提供するとともに、前年度から開始された証明書のコンビニ交付サービスの周知を図り、市民の利便性の向上に努める。

さらに、国が推進しているマイナンバーカード取得促進事業（交付円滑化）を進めるとともに、親族が亡くなられた際の諸手続きについての情報提供を目的とした「おくやみ手続きハンドブック」を作成・配布することにより市民の負担軽減及び市民サービスの向上を図る。

また、末永・本郷地区の土地区画整理事業完了に伴い、住居表示の再整備（変更）を行う。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳情報システム運営費	2 6, 2 5 4 千円
	戸籍住民基本台帳事務費	1 1 3, 1 1 0 千円
	市民窓口サービスセンター運営費	6, 2 3 7 千円
	住居表示管理経費	1 0, 8 8 2 千円
	番号制度関連経費	5 4, 7 4 1 千円
	コンビニ交付事業費	1 5, 8 1 4 千円
	マイナポイント関係経費	3, 9 8 3 千円

8. あさけプラザ事業について

開館から 35 年を経過したあさけプラザは、施設等の長寿命化と市民の利便性向上を図るため、計画的な改修工事を進めている。令和 2 年度は、ホール等の吊天井崩落対策工事や空調設備の更新工事のほか北駐車場の再舗装工事等を実施する。

また、幅広い年代の人びとが交流する広域複合施設として、引き続き、安全で快適な施設づくりに努めるとともに、利用者に親しまれる場として、各種講座やコンサートなど充実した自主事業を行う。

【主な事業】	施設管理運営費	8 9, 1 4 0 千円
	施設整備事業費	1 4 7, 6 0 0 千円
	施設整備事業費(アセットマネジメント)	4 3, 5 0 0 千円
	図書資料整備費	2, 3 4 5 千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1, 8 0 0 千円

(決算議会等の指摘に対する主な見直し事業)

地域活動費（市民生活課）

福祉や防災、防犯などさまざまな分野における地域の特色ある活動が迅速に遂行できるよう、地区市民センターの館長権限予算を引き続き実施するにあたり、予算の配分においてコンペ方式を導入することにより、地域コミュニティの維持・拡充への柔軟な支援を行う。

自治会連絡事務費

1. 目的

自治会への迅速な市政情報の提供を行うとともに、四日市市自治会連合会（以下「四自連」という。）事務局の運営等に必要な費用について補助を行うなど、地域のまちづくりを支える重要な組織である自治会の活動が円滑に行われるよう支援を行う。

2. 内容

(1) 【新規】自治会加入促進支援事業 900千円

地域住民の自治会活動に対する理解を深め、自治会への加入及び参加を促進し、自治会活動の推進を図るため、自治会が担う役割や活動内容等を紹介するパンフレットを作成し、あらゆる機会を捉えて広報・啓発を実施する。

(2) 【拡充】広報連絡等事務委託 61,876千円

各自治会への市政情報の提供などを通して、市民の市政への理解及び協力を得るため、ポスター掲示や組回覧を委託するとともに、市の施策や事業を円滑に進めるため、行政の連絡調整などを委託する。

●委託業務内容

- ・ポスター掲示業務、組回覧業務
- ・委託者と各自治会との連絡調整業務
- ・公共事業の周知等の協力および災害時の罹災の取りまとめ業務
- ・被表彰者や各種委員等の推薦に関すること
- ・行政の各種調査業務

各地区連合自治会に対し、広報連絡等事務委託として上記の事業を委託しているところであるが、昨今の人件費の引上げを勘案し、以下の通り委託料積算内訳の増額見直しを行う。

区分	変更前（現行）	変更後	備考
連合自治会長割	<u>76,500 円</u>	<u>81,400 円</u>	×連合自治会長数 (想定：28名)
町自治会長割	<u>57,800 円</u>	<u>61,500 円</u>	×自治会長数 (想定：735名)
町数割	2,080 円	2,080 円	×自治会数 (想定：738)
世帯数割	116 円	116 円	×自治会加入世帯数 (想定：110,850世帯)

(3) 【拡充】四自連事務局運営事業費補助金

4,500千円

四自連事務局は、四自連と自治会及び市との連絡調整、自治会活動の啓発事業等を行っている。

令和2年4月1日から「四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例」を施行することに伴い、四自連事務局の体制を一層強化していく必要がある。

このような状況から、四自連事務局の運営経費を確保し、四自連及び市内の自治会活動がより円滑に行われるよう支援を行うため、以下のとおり補助金額を見直す。

積算内訳	変更前（現行）	変更後	備考
事務局職員人件費	2,500,000 円	3,000,000 円	※
事務室使用料	410,000 円	410,000 円	
光熱水費	130,000 円	130,000 円	
その他事務経費	710,000 円	710,000 円	
四自連パンフレット作成費	250,000 円	250,000 円	
合計	4,000,000 円	4,500,000 円	

※昨今の人件費の引上げを勘案し、事務局職員人件費分を見直し

(4) その他の経費

3,431千円

永年勤続自治会長表彰に係る経費並びに自治会事務委託（連合自治会研修等）及び三重県自治会連合会活動等業務委託に係る委託料

3. 予算額 70,707千円 (財源内訳) 一般財源 70,707千円
(前年度 66,058千円)

担当	市民文化部市民生活課 矢田 TEL 354-8146
----	----------------------------------

四日市北警察署跡地整備事業費

1. 目的

移転した四日市北警察署の跡地利用について、地元連合自治会からの要望を受け、治安・防犯機能の確保を目的として地域防犯拠点を整備し、当該地域における安全・安心なまちづくりの推進を図る。

2. 内容

(1) 運用について

- ・月～土曜日の11時30分～20時を開館時間とし、地区内での防犯活動に係る相談等の受付を行うとともに、周辺地域のパトロール活動の拠点とする。
- ・緊急時の対応やパトロールによる職員不在を回避するため、警察OB職員等2名を配置する。
- ・富洲原地区連合自治会との協議において、地域で活動する子ども見守り隊、民生委員児童委員協議会のメンバーが定期的に立ち寄る意向であることに加え、四日市北警察署の地域課が、パトロール中に立ち寄ることも想定している。
- ・令和2年度中（令和2年度下半期）の開館に向けて準備を進める。

※人員配置案

	11:30	13:00	18:00	20:00
警察OB	←————→			
会計年度任用職員 パートタイマー	←————→			
				19:30まで

	警察OB①	警察OB②	パート
月	出勤	出勤	出勤
火		出勤	出勤
水	出勤		出勤
木		出勤	出勤
金	出勤		出勤
土	出勤	出勤	
日	休館		

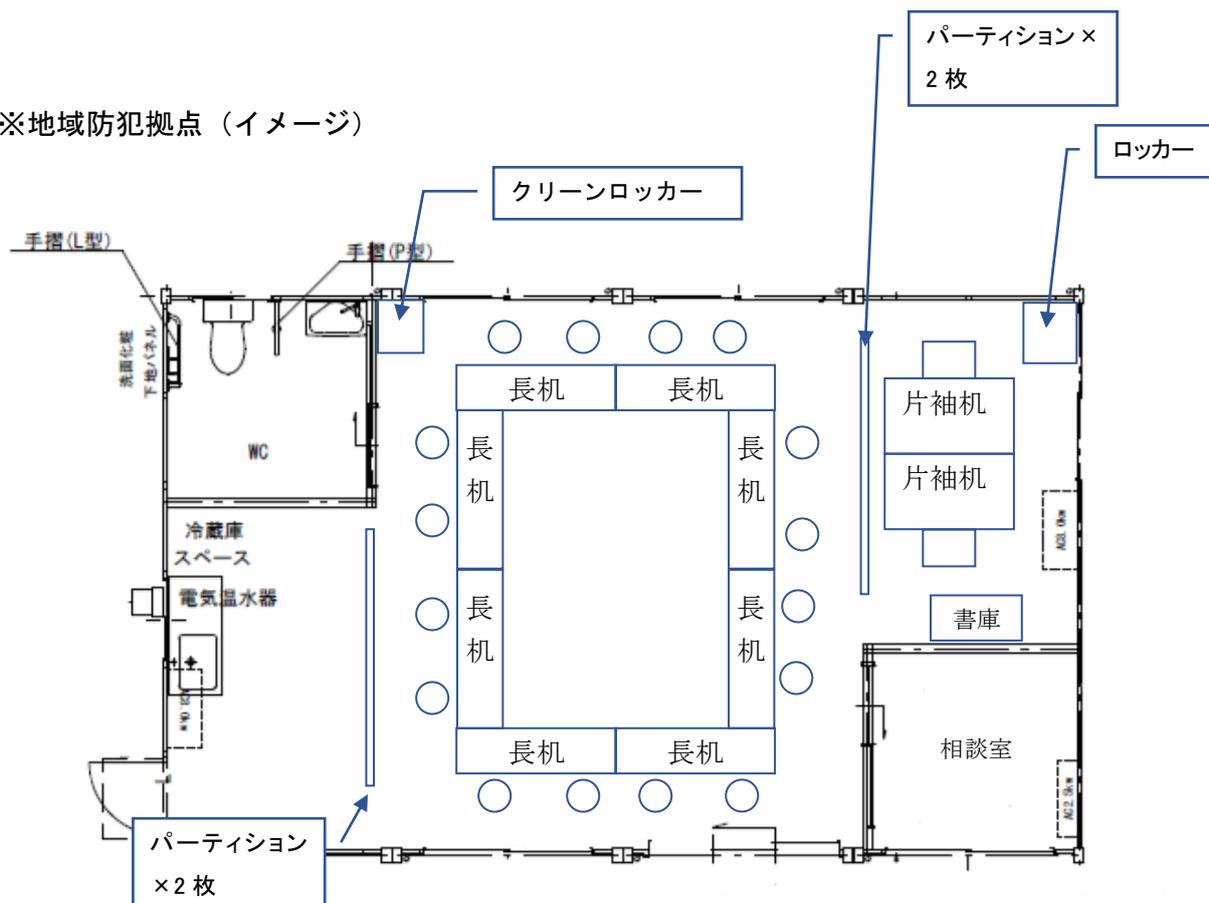
○警察OB①②は、週4日×7.75H/日=31H/週 【休憩時間45分含め8.5H/日】

○パートタイマーは、週5日×7.25H/日=36.25H/週 【休憩時間45分含め8H/日】

(2) レイアウトについて

- ・入口までスロープを設置するとともに、車椅子でも出入りしやすいよう、引き戸のサッシを使用。トイレについても高齢者等に配慮した仕様とする。
- ・緊急時の避難経路確保のため勝手口を設け、看板、外灯、施設入口監視用の防犯カメラを設置。
- ・自主防犯団体の会議（30名程度まで）用に折り畳み机、パイプ椅子を購入。

※地域防犯拠点（イメージ）



(3) 予算内訳

- | | |
|---|----------|
| 1. 地域防犯拠点施設設置工事
※ユニットハウス設置、外構工事等 | 21,600千円 |
| 2. 地域防犯拠点施設に係る土地使用料
※三重県より賃借 (260 m ²) | 505千円 |
| 3. 地域防犯拠点施設の運営経費等
※施設で使用する消耗品費、備品購入費等 | 891千円 |

3. 予算額 22,996千円 (財源内訳) 一般財源 22,996千円
 (前年度 1,400千円)

担当 市民文化部市民協働安全課
 後藤・丹羽
 TEL 354-8179

文化会館大規模設備等改修事業

(文化会館大規模設備等改修事業費、文化会館等施設整備事業費(アセットマネジメント))

1. 目的

四日市市文化会館は昭和57年の開館以来、37年が経過した施設であり、これまでも吊天井対策工事をはじめ、消防設備の更新、外壁塗装、屋根改修などを実施してきた。今後も施設を安全で良好な状態で管理していくため、照明関連設備と音響関連設備の更新等を併せて実施する。

2. 内容

【文化会館大規模設備等改修事業】 1, 210千円

照明設備更新工事設計

現在使用しているホールの照明設備は、第1ホールは平成10年度、第2ホールは平成12年度に更新を行っている。更新後20年以上経過していて修理部品もなくなっていることから、第1、2ホールの照明設備更新工事を行うため、設計を行う。

【アセットマネジメント事業】 1, 210千円

音響設備更新工事設計

ホール音響設備は、前回更新から19年が経過し、故障時の迅速な復旧対応が困難であり、操作中の事故も懸念されることから利用者のニーズにあった設備環境に整備し、安心して施設を利用していただけるよう音響設備更新工事の設計を行う。

照明設備及び音響設備の工事スケジュール △ ……設計 ➡ ……工事 (予定)

工事名称	令和2年度	令和3年度		
		上期	中期	下期
照明設備更新工事(1ホール)	△	●契約		➡
照明設備更新工事(2ホール)		← 照明機器類製作期間 →		➡
音響設備更新工事(1ホール)	△	●契約		➡
音響設備更新工事(2ホール)		← 音響機器類製作期間 →		➡

※令和3年度下期にホール休止期間を予定

3. 予算額 2, 420千円 (財源内訳) 一般財源 2, 420千円

(前年度 0千円)

担当 市民文化部文化振興課
田中
Tel 354-8239

(新) こども芸術体験事業費

1. 目的

乳幼児期から音楽をはじめとした芸術文化に親しむ機会として、乳幼児とその保護者を対象に、プロの演奏家によるコンサートを月1回程度開催し、豊かな人間性の涵養と文化の担い手の育成を図る。

2. 内容

乳幼児期から音楽をはじめとした芸術文化に親しむことで、豊かな人間性の涵養と文化の担い手の育成を目的に、乳幼児と保護者を対象に生の音楽に触れるコンサートを実施する。【政策提案】

<事業の概要>

プロの演奏家を招き、近い距離で生の音楽を体験できるコンサートを実施する。音楽のジャンルはクラシック、童謡、ポップス、ジャズ、邦楽等、幅広いものとする。

- ・対象者 乳幼児とその保護者
- ・出演者 近隣市町や名古屋近郊在住の音楽家(個人又はグループ)
- ・会場 乳幼児と保護者の集まりやすい場所
(子育て支援センター等を想定)
- ・開催頻度 月1回程度

3. 予算額 1,000千円 (財源内訳) 一般財源 1,000千円

担当 市民文化部文化振興課
日置
TEL 354-8239

ワーク・ライフ・バランス推進事業費

1. 目的

一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択できる社会の実現を目指す。

2. 内容

(1) ワーク・ライフ・バランス啓発事業

ワーク・ライフ・バランスを進めることが、企業における経営戦略の重要な柱であることの認識を深めてもらうとともに、各企業、団体による取り組み促進に向け、各種企業や団体への出前講座を実施する。

(2) 女性就労支援事業

働く女性、働きたい女性が抱える、キャリア形成や働く上でのさまざまな悩みについて、キャリアカウンセラー等の専門家を相談員とした無料の相談窓口を設置し、女性が自分らしく働いていくための支援を行う。

(3) 【新規】女性と企業とのマッチング事業

女性活躍を推進するため、子育て等をしながら就職を希望している女性と、子育て期の女性を新戦力として位置づけ受け入れようとする企業とのマッチングの場を設ける。

(4) 【新規】女性活躍推進法普及事業

企業等を対象に、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に関する制度や取り組みなどを理解してもらうためのセミナーを開催する。

3. 予算額 2,405千円 (財源内訳) 一般財源 2,405千円
(前年度 2,712千円)



ワーク・ライフ・バランス出前講座

担当 市民文化部 男女共同参画課
松永
Tel 354-8331

(新) おくやみ手続き支援事業

(戸籍住民基本台帳事務費)

1. 目的

親族が亡くなられた後の手続き(※)は多岐にわたり、遺族の大きな負担となっていることから、亡くなられた際の手続きに関する情報をまとめて提供することにより、遺族の負担を軽減する。

※死亡届、健康保険、介護保険、福祉関係、税金、年金、相続関係など

2. 内容

親族が亡くなられた際に必要となる様々な手続きに関する情報について、一冊にまとめた「おくやみ手続きハンドブック」を作成し、来庁した遺族のかたに配付するとともに担当部署の案内を行う。

(1) 「おくやみ手続きハンドブック」の掲載内容にかかる情報収集及び関係機関との調整を行う。

(2) 「おくやみ手続きハンドブック」(4,000冊)を、26か所の窓口(市民課、中部を除く各地区市民センター、市民窓口サービスセンター、四日市市役所宿直)に配付する。

3. 予算額 220千円 (財源内訳) 一般財源 220千円

担当 市民文化部 市民課

岡

TEL 354-8152

(新) マイナンバーカード取得促進事業

(番号制度関連経費)

1. 目的

マイナンバーカードの交付については、平日開庁時のほかに、日曜窓口(月1回)を開設することにより対応している。

マイナンバーカードの更なる取得促進を図るため、一層の周知広報に取り組みとともに、従来の交付窓口開設と併せて、出張申請受付方式(企業等一括申請方式)及び出張申請サポート方式を新たに導入し、マイナンバーカードの申請及び交付の機会を拡大することを目的とする。

2. 内容

マイナンバーカード交付申請の機会を拡大するため、以下の事業を行う。

- (1) 市職員が企業等へ出張し、集団での交付申請を受け付ける。J-LIS(地方公共団体情報システム機構)から送られたマイナンバーカードについては、本人限定受取郵便で申請者に送付する。
- (2) 市職員がイベント会場等へ出張し、マイナンバーカードの交付申請手続きについて支援を行う。
- (3) これらの事業に併せて、マイナンバーカードの交付申請について、更なる広報を行い周知に努める。

3. 予算額

4, 852千円	(財源内訳) 国庫支出金(10/10)	4, 581千円
	一般財源	271千円

担当 市民文化部 市民課

岡

TEL 354-8152

あさけプラザ施設整備事業費

1. 目的

あさけプラザにおける「ホール等の吊天井崩落対策工事」や「北駐車場の再舗装」「調整池の浚渫工事の測量及び設計」等を行い、施設・設備の長寿命化、安全性や利便性の向上を図る。

2. 内容

- (1) 吊天井崩落対策等の工事 125,700千円
ホール、ホワイエ、エントランスロビーの吊天井崩落対策工事に併せて音響設備更新工事、ホール客席更新及び床改修を実施する。
- (2) 北駐車場再舗装工事 13,100千円
施設北側駐車場の再舗装を行うとともに、凸凹を改修し、利用者が安全に歩行できるようにする。
- (3) 調整池浚渫工事測量及び設計 6,600千円
調整池に堆積している土などを浚渫してその機能を回復するため、調整池の測量を行い、浚渫工事のための設計を行う。
- (4) その他施設整備のための設計 2,200千円
汚水ポンプ、浴室用ボイラー及び直流電源装置の更新、1階2階のLED化されていない部屋などの照明LED化工事に係る設計を行う。

3. 予算額	147,600千円	(財源内訳)	市債	81,000千円
(前年度)	30,100千円)		一般財源	66,600千円

4. 債務負担行為

- ・あさけプラザホール他吊天井崩落対策工事費
限度額 179,000千円 (総事業費) 298,000千円
期間 令和2年度から令和3年度まで
- ・あさけプラザホール他吊天井崩落対策工事監理業務委託費
限度額 9,800千円 (総事業費) 16,500千円
期間 令和2年度から令和3年度まで

担当 市民文化部 あさけプラザ
井垣
Tel 363-0123